

**鹿島市子ども・子育て支援に関する
ニーズ調査報告書**

令和元年7月

目 次

I	調査概要	1
II	就学前児童調査結果	
1	対象者及び保護者の特性	7
2	祖父母などに預かってもらっている状況	9
3	保護者の就労状況について	10
4	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	13
5	病児・病後児保育について	18
6	平日の定期的な教育・保育事業の利用希望	20
7	休日の定期的な教育・保育事業の利用希望	22
8	一時預かりについて	23
9	放課後児童クラブについて	25
10	育児休業制度等の利用状況	26
11	子育て支援サービスについて	30
12	地域子育て支援拠点事業について	33
13	ファミリー・サポート・センター事業について	35
14	子育て全般について	36
III	小学生児童調査結果	
1	対象者及び保護者の特性	45
2	保護者の就労状況について	48
3	放課後児童クラブについて	51
4	病児・病後児保育について	53
5	子育て支援サービスについて	55
6	子どもの日常生活について	58
7	子育て全般について	59

I 調査概要

1) 調査の目的

鹿島市では、平成27年3月に「鹿島市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、計画的に給付・事業を実施してきました。本調査は、子ども・子育て支援法第61条（平成24年法律第65号）の規定に基づき本計画を次年度策定するにあたり、本市における子ども・子育ての現状や、教育・保育・子育て支援事業に係る「現在の利用状況」と「今後の利用希望」について把握するために実施しました。

2) 調査地域

鹿島市内全域

3) 調査対象者及び調査実施方法

調査対象	調査実施方法
就学前の児童を持つ保護者	市内に在住する就学前児童の保護者497人を対象として、郵送配布・郵送及び施設回収で調査を実施。
小学生の児童を持つ保護者	市内の小学校毎に1年生から6年生の2~3クラスを抽出し、505人を対象として、学校配布・学校回収で調査を実施。

4) 抽出方法

住民基本台帳により

就学前児童 497人、小学生 505人の合計 1,002人を無作為抽出。

5) 調査期間

平成31年1月28日（月）～2月22日（金）

6) 回収状況

	配布数 A	回収数 B	回収率 B/A
就学前児童保護者	497人	365人	73.44%
小学生児童保護者	505人	423人	83.76%
合計	1,002人	788人	78.64%

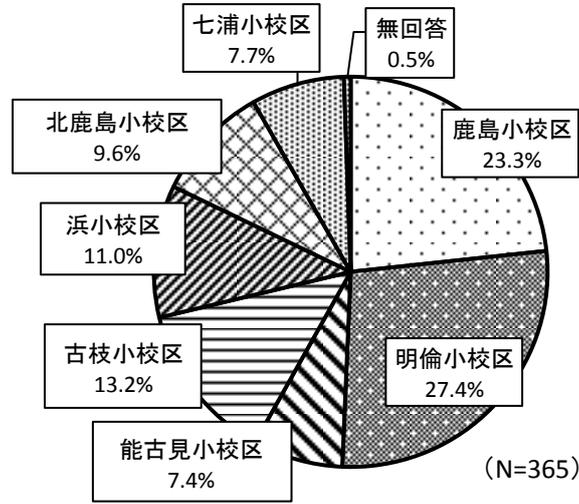
7) 集計上の留意点

- ①アンケートはパーセントで表示しています。また、グラフ中に表示している「N=」は、パーセントを計算するときの母数となるサンプル数（回答者数）を示しています。集計した数値（%）について、小数第二位を四捨五入して、小数第一位までの表示としているため、その合計が必ずしも100.0%にならない場合もあります。
- ②複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100.0%を超えます。
- ③アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、図表の中では要約して表記している場合があります。
- ④回答が少数である場合の構成比については、特定の意向が強く反映される場合があることにご留意ください。
- ⑤本調査においては、調査項目によって複数のお子さんのデータを取得できるように設計しており、必ずしも、有効回答数と回答実数は一致しない場合があります。

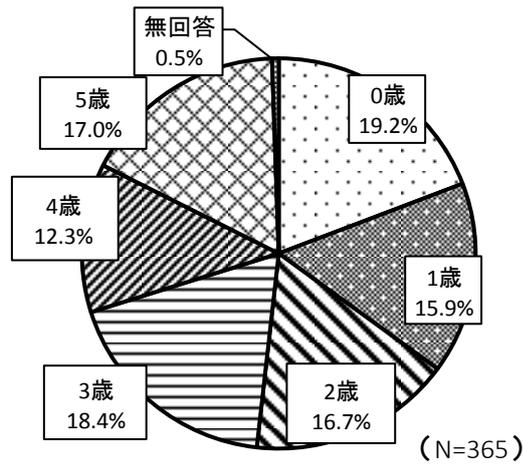
II 就学前兒童調查結果

1. 対象者及び保護者の特性

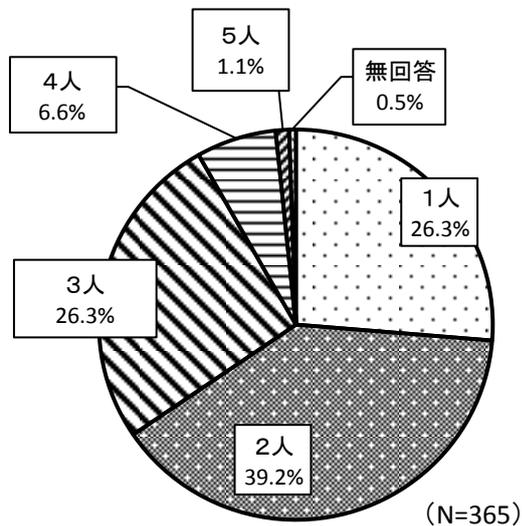
問 1. お住まいの地区(小学校区)を教えてください。(1つに〇)



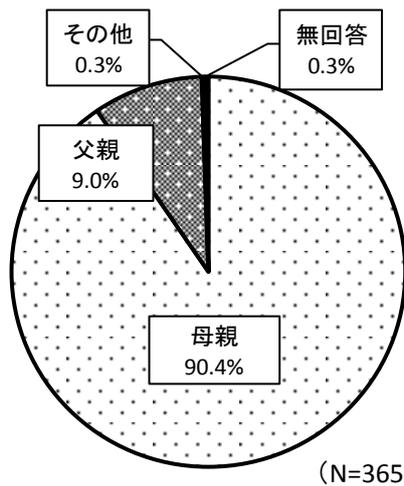
問 2. お子さんの生年月をお聞きます。



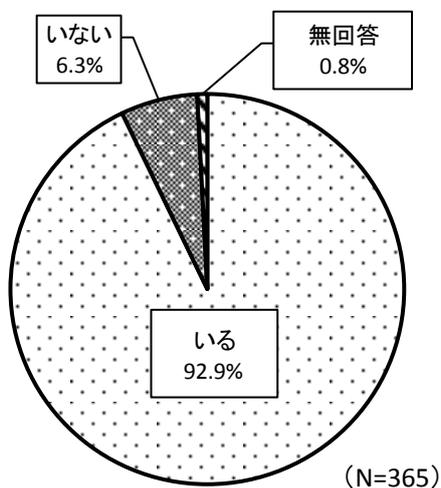
問 3. お子さんに兄弟姉妹は何人おられますか。お子さんを含めた人数をお答えください。



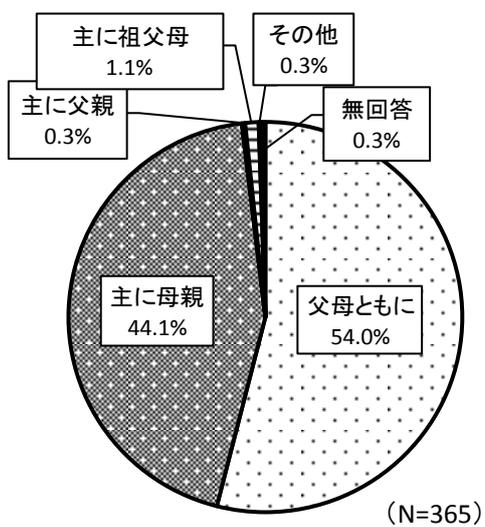
問 4. あなたは、お子さんからみて、続柄は何ですか。(1つに○)



問 5. あなたに配偶者はいらっしゃいますか。(1つに○)



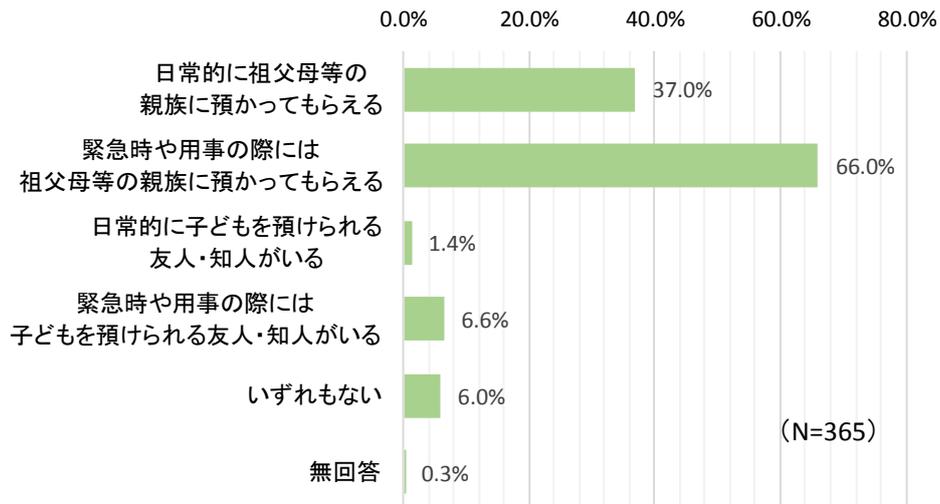
問 6. お子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。(1つに○)



2. 祖父母などに預かってもらっている状況

祖父母等に預かってもらうことのできる人について、その状況を見ると、「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が66.0%となっています。一方、「いずれもない」が6.0%となっており、このような家庭は緊急時の対応が困難となっています。

問7. お子さんを預かってもらえる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)



3. 保護者の就労状況について

3-1. 母親(父親)の就労形態

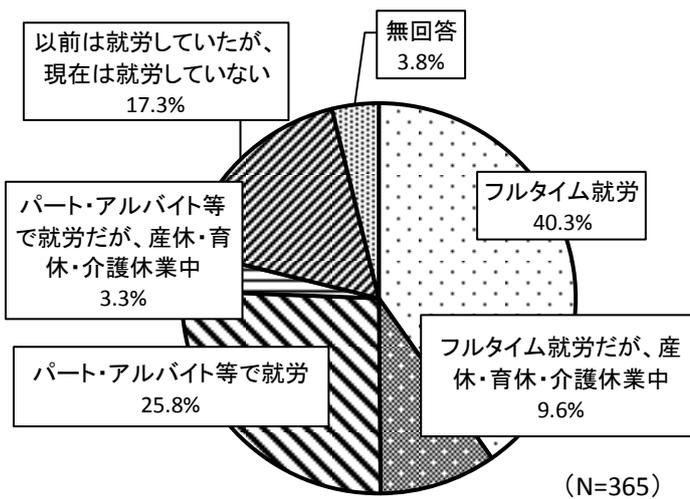
母親の就労状況をみると、「フルタイム就労」が 40.3%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労」が 25.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 17.3%と続いています。父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労している」が 89.6%と大半を占めています。

母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が 48.6%で最も高く、約半数を占めています。「6日」の 18.4%、「4日」の 4.4%となっています。父親の1週当たりの就労日数は、「5日」が 51.6%で最も高く、次いで「6日」の 42.1%となっています。

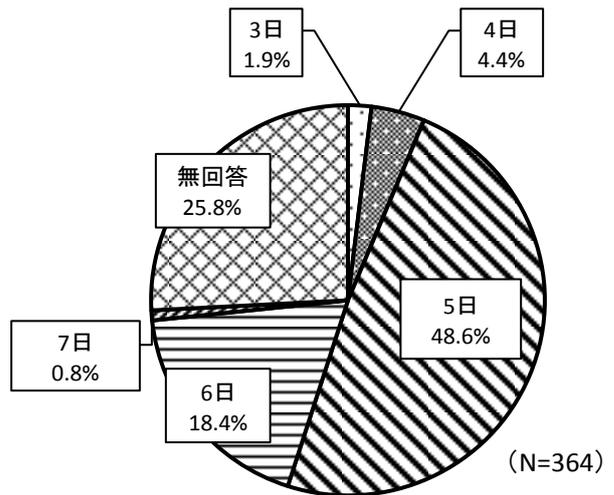
すべての方にお伺いします。

問 8. 現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をお伺いします。(①父親、②母親それぞれあてはまる欄に○、選択肢によっては就労日数等も回答)

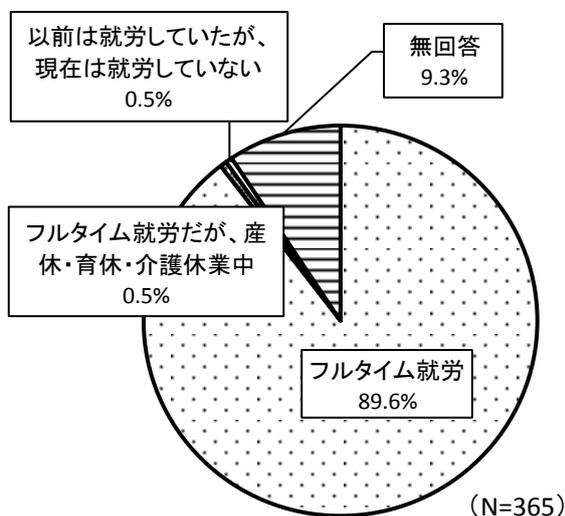
【母親】



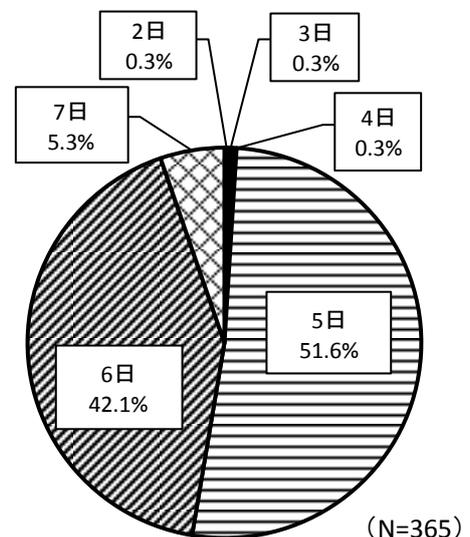
【1週当たりの就労日数】



【父親】



【1週当たりの就労日数】

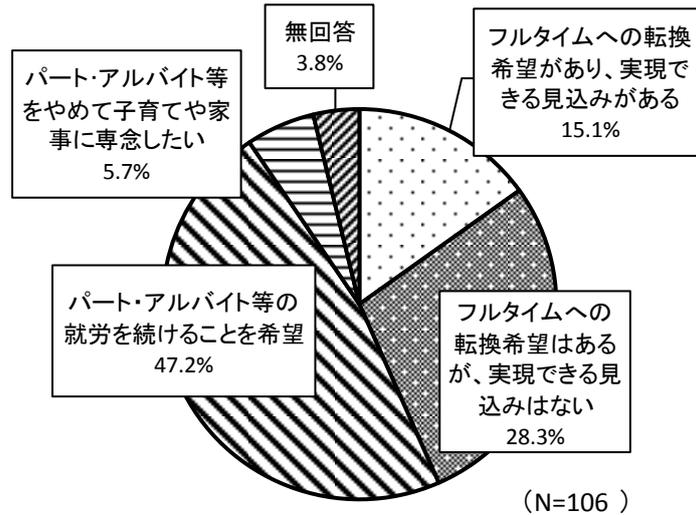


3-2. フルタイムへの転換希望（母親のみ）

母親のフルタイムへの転換希望についてみると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 47.2%で最も高くなっています。「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（28.3%）「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」（15.1%）と、全体的なフルタイムへの転換希望の割合は 43.4%ですが、実現できる見込みがあるのはそのうち 15.1%と、フルタイムへの転換の実現が厳しい状況がうかがえます。

問 8 で「3」または「4」に○をした方にお伺いします。

問 8-1. フルタイムへの転換希望はありますか。



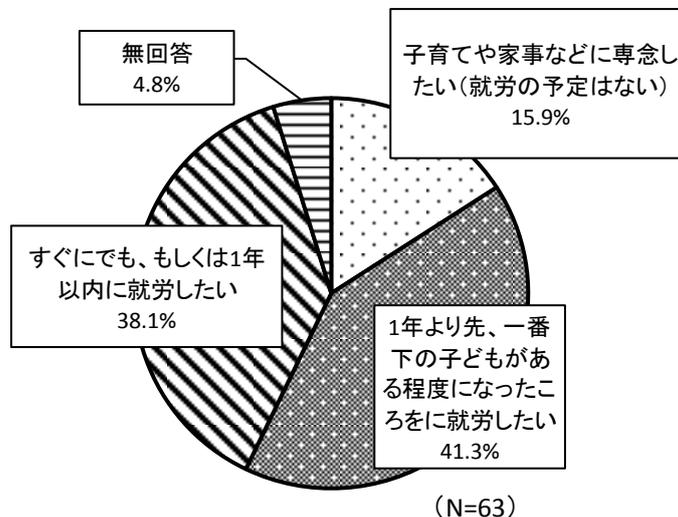
3-3. 現在就労していない母親の就労意向

(1) 就労意向

現在就労していない母親の就労意向についてみると、「1年より先、一番下の子どもがある程度になったところに就労したい」が 41.3%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 38.1%と、全体の就労意向は 79.4%で、就労意欲は強くなっています。

問 8 で「5」または「6」に○をした方にお伺いします。

問 8-2. 今後の就労希望はありますか。

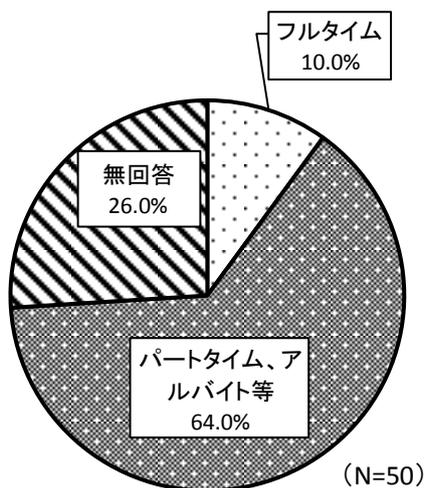


(2) 就労希望の形態

母親が希望する就労形態をみると、「パートタイム・アルバイト等」が64.0%になっています。子育てをしながら就労するには、フルタイムよりも短い時間で働く「パート・アルバイト等」を希望する割合が高いことがうかがえます。

問 8-2 で「2」または「3」に○をした方にお伺いします。

問 8-3. 就労希望の形態はどのようなものですか。



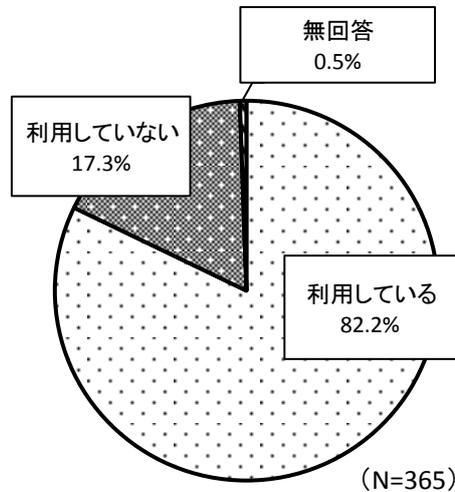
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

4-1. 利用しているサービス

現在「定期的な教育・保育の事業」を「利用している」人の割合は 82.2%となっており、そのうち「認可保育所」を利用している割合が 71.0%と最も高く占めています。以下「幼稚園」の 13.3%、「認定こども園」の 12.3%と続いており、その他の事業の割合は低率となっています。

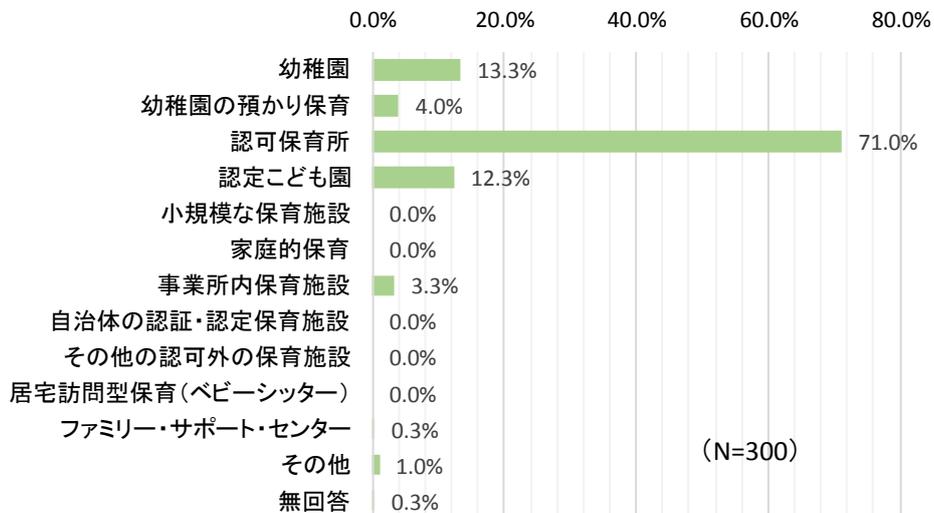
すべての方にお伺いします。

問 9. お子さんは現在、幼稚園・保育所・認定こども園などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。(1つに○)



問 9 で「1」に○をした方にお伺いします。

問 9-1. お子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)



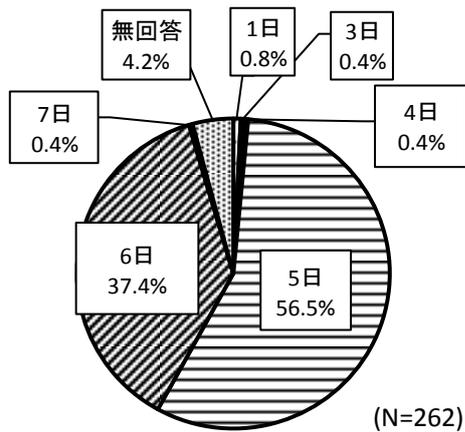
4-2. 保育サービスの利用日数と利用時間

選択した事業について、現在の利用状況を見ると、1週当たり保育日数は「5日」が56.5%で半数以上を占めており、次いで「6日」の37.4%となっています。利用希望は「6日」が30.2%、次いで「5日」が26.7%となっています。1日当たり保育時間をみると、「8～9時間未満」が24.0%で最も高く、次いで「9～10時間未満」の21.0%と続いており、利用希望については「9～10時間未満」の17.3%が最も高くなっています。

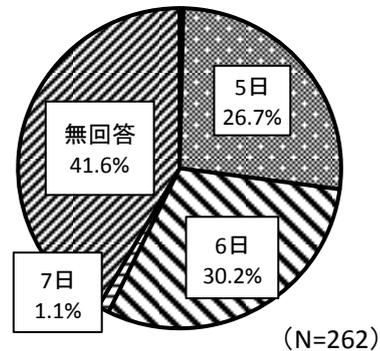
問 9-2. 問 9-1 で選択した事業の、現在の利用状況と、希望利用日数等を具体的にお答えください。

【1週当たり保育日数】

<現在>

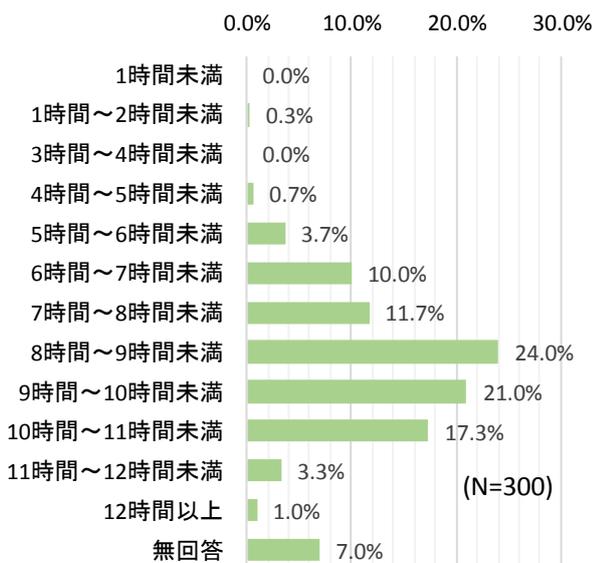


<希望>

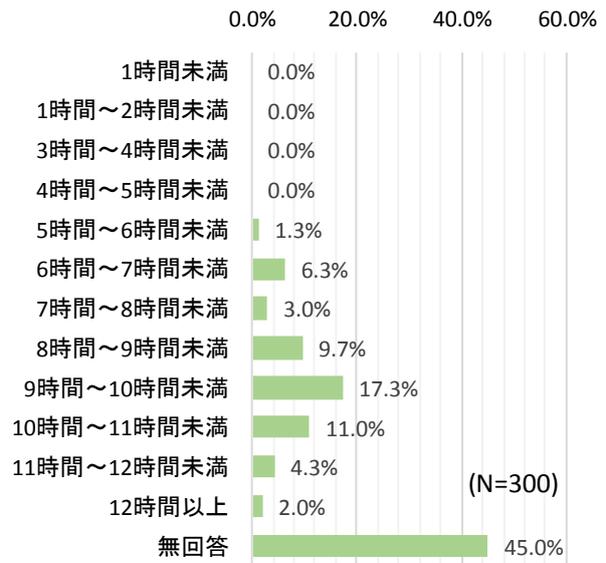


【1日当たり保育時間】

<現在>



<希望>



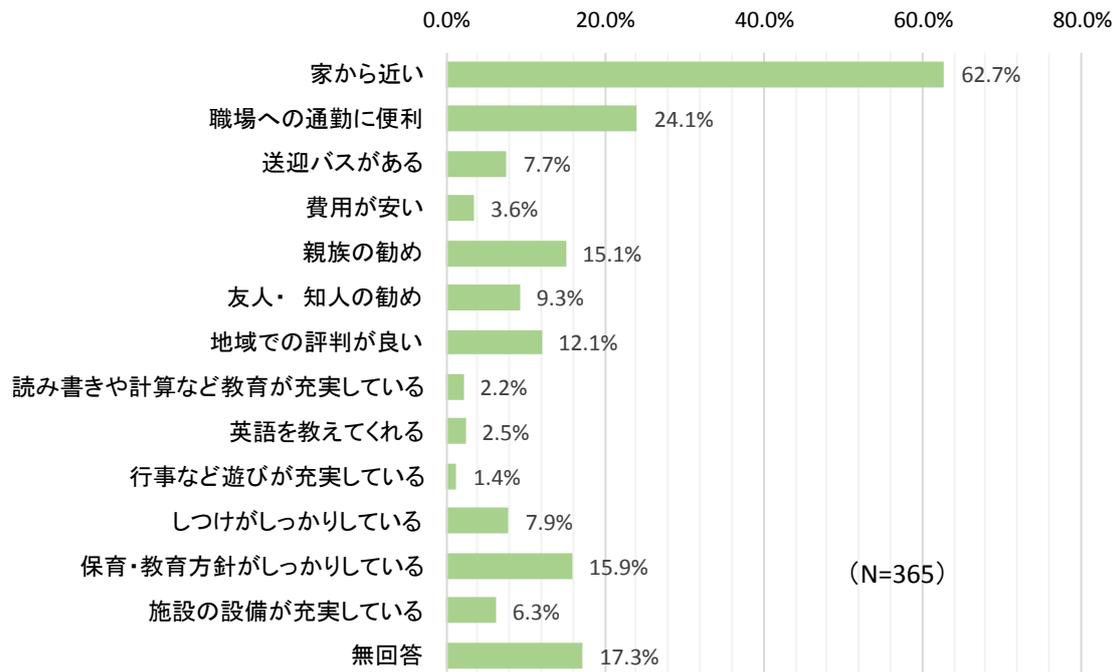
4-3. 施設選択理由と費用

お子さんが通う施設を選ぶ際に重視したことについてみると、「家から近い」が 62.7%で 6割以上を占めています。以下「職場への通勤に便利」の 24.1%、「保育・教育方針がしっかりしている」が 15.9%と続いています。

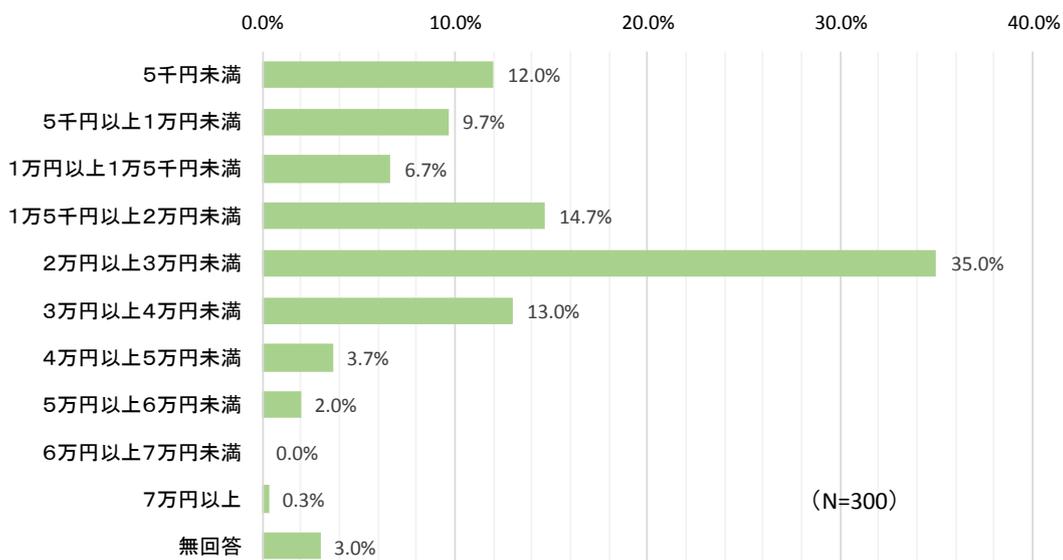
施設・事業の利用に毎月かかる費用についてみると、「2万円以上3万円未満」が 35.0%で最も高く、次いで「1万5千円以上2万円未満」の 14.7%と続いています。

その費用について負担に感じている人の割合は、「とても感じる」「感じる」を含めた割合は 62.6%と、全体の約 6割の人が負担に感じています。

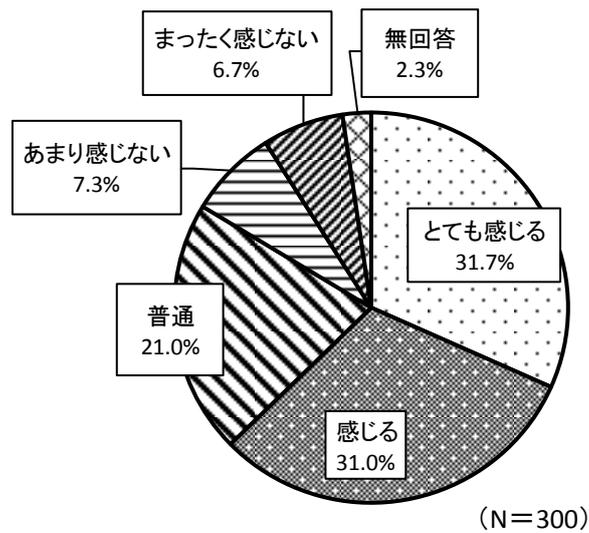
問 9-3. お子さんが通う施設を選ぶときにどのようなことを重視しましたか(3つまで○)



問 9-4. あて名のお子さんの 1 か月あたりの間 9-1 の施設・事業の利用に毎月にかかる費用はいくらですか。(1つに○)



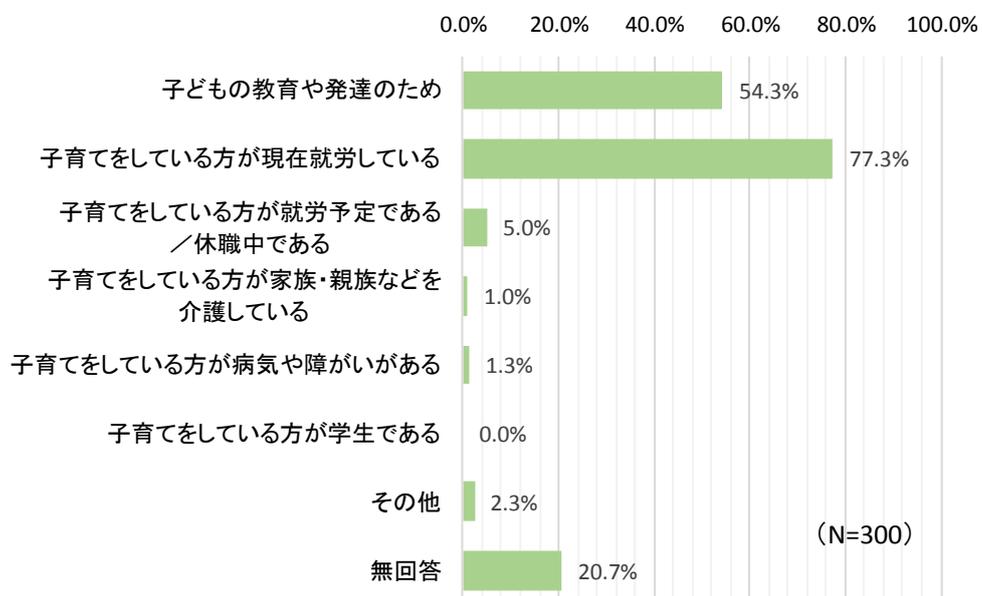
問 9-5. 問 9-4 の費用について、負担を重く感じますか。(1 つに○)



4-4. 利用している理由

選択した事業について、利用している理由をみると、「子育てをしている方が現在就労している」が 77.3%で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 54.3%となって、この2項目が目立って高くなっています。

問 9-6. 問 9-1 で選択した事業を利用している理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

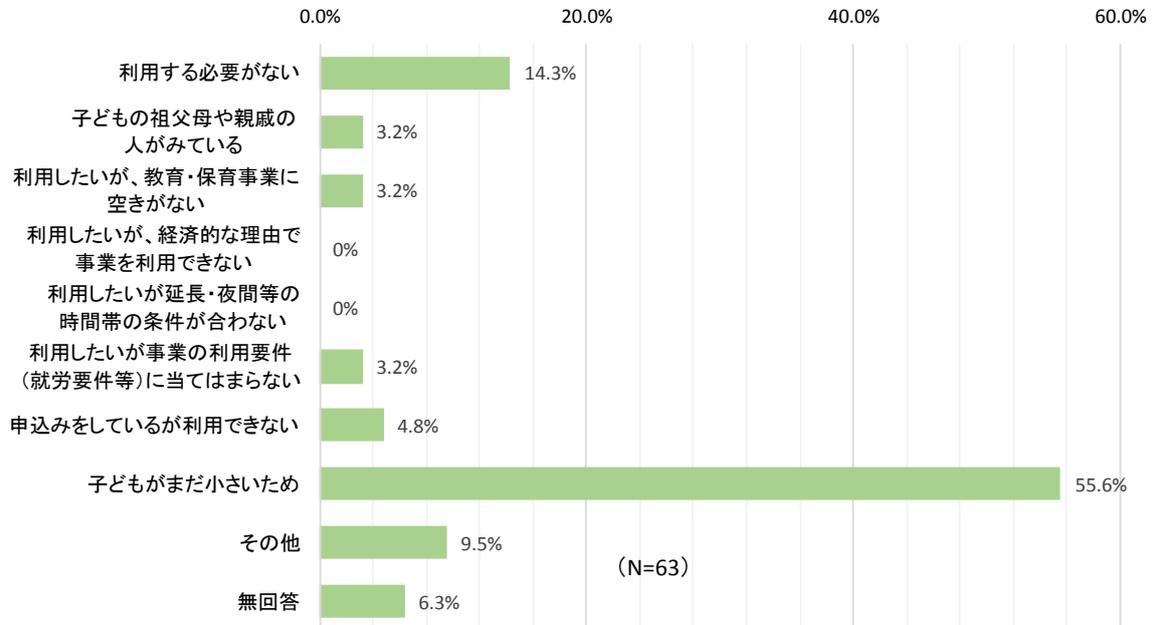


4-5. 利用していない理由

利用していない理由をみると、「子どもがまだ小さいため」が 55.6%で最も高く、次いで「利用する必要がない」が 14.3%となっています。

問 9 で「2. 利用していない」に○をした方にお伺いします。

問 9-7. 利用していない理由は何ですか。(1つに○)



5. 病児・病後児保育について

5-1. 過去1年間に保育サービスを利用できなかったことの有無

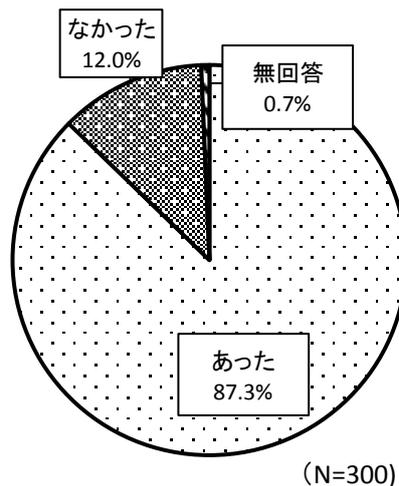
過去1年間に、病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかったことの有無をみると、「あった」が87.3%と約9割を占めています。

その際の対処方法は、「就労している母親が仕事を休んだ」が75.6%と、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が45.4%となっています。以下「就労している父親が仕事を休んだ」(25.2%)、「就労していない保護者が子どもをみた」(16.8%)と続いており、「病児・病後児保育を利用した」の割合はわずか1.9%にとどまっています。

その理由についてみると、「子どもの祖父母や親せきの人が見ている」「子どもがまだ小さいため」16.8%、「利用する必要がなかった」16.0%などがあがっています。

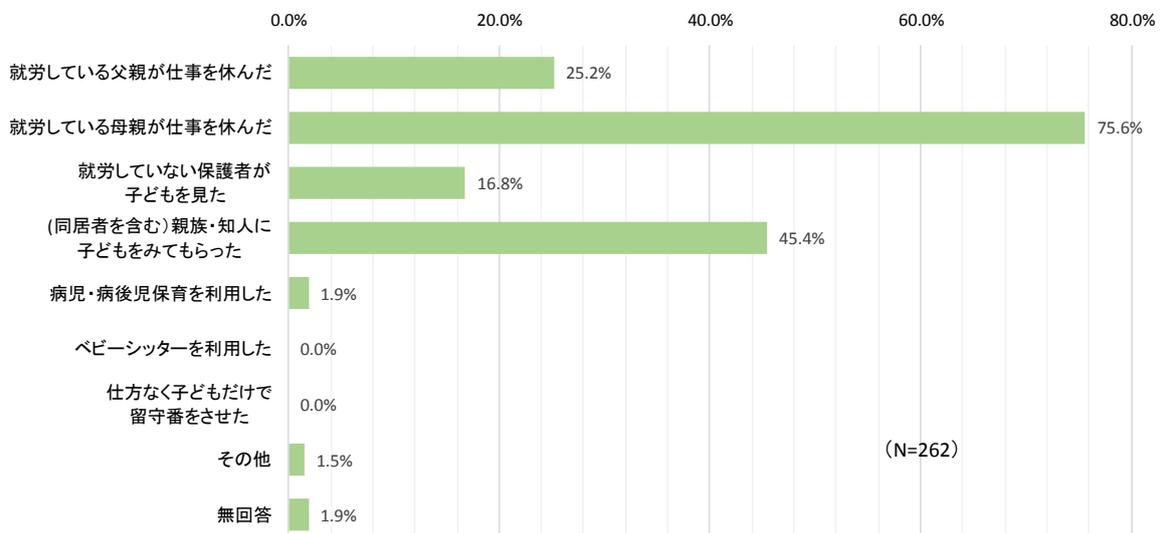
平日の定期的な教育・保育事業を利用している方(問9で「1」に○をつけた方)にお伺いします。利用していない方は、問11へお進みください。

問10. 先月までの1年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園や保育所などが利用できなかったことはありますか。(1つに○)

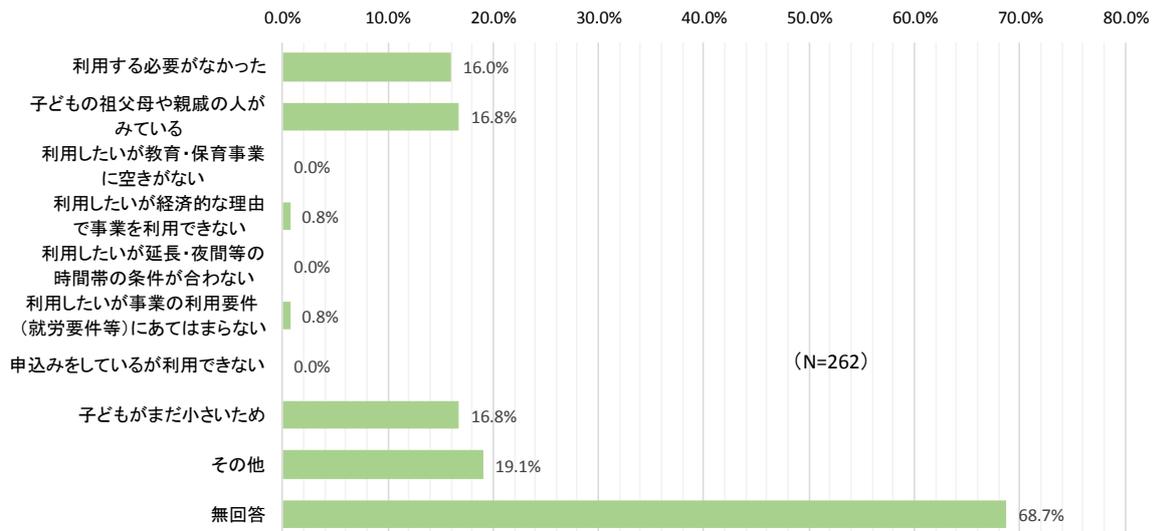


問10で「1」に○をした方にお伺いします。

問10-1. その対処方法にあてはまる番号すべてに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)



問 10-2. 問 10-1 の対応を行った理由は何ですか。(1つに○)



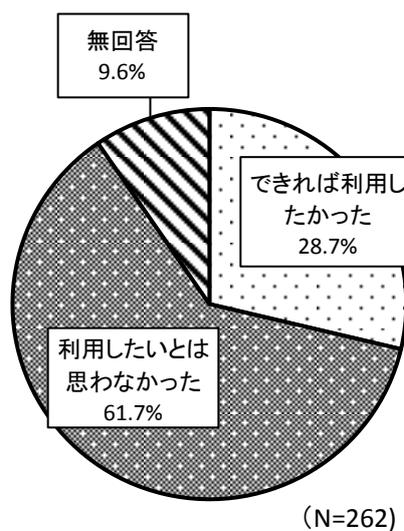
5-2. 病児・病後児保育の利用希望

父親または母親が休んで対処した人のうち、病児・病後保育を「できれば利用したかった」と思った人の割合は、28.7%となっています。

利用意向を持つ人たちに対して、認知度を高め利用手続きなどを周知させ、実際の利用につなげていく必要があります。

問 10-1 で「1」または「2」に○をした方にお伺いします。

問 10-3. その際、できれば病児・病後児保育を利用したいと思いましたか。(1つに○)



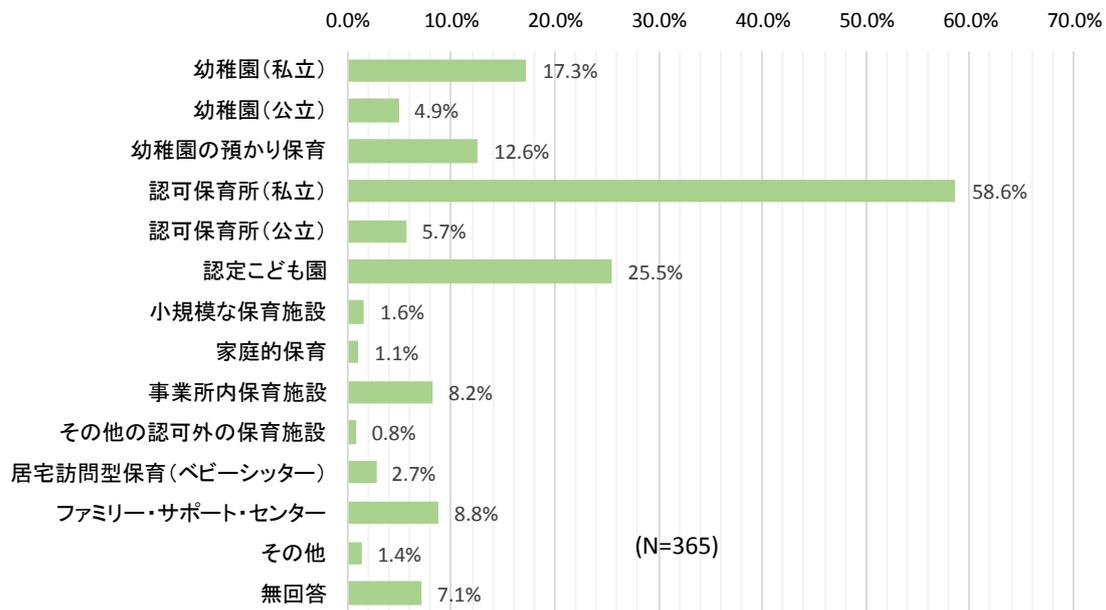
6. 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望

6-1. 今後利用したいサービスと場所

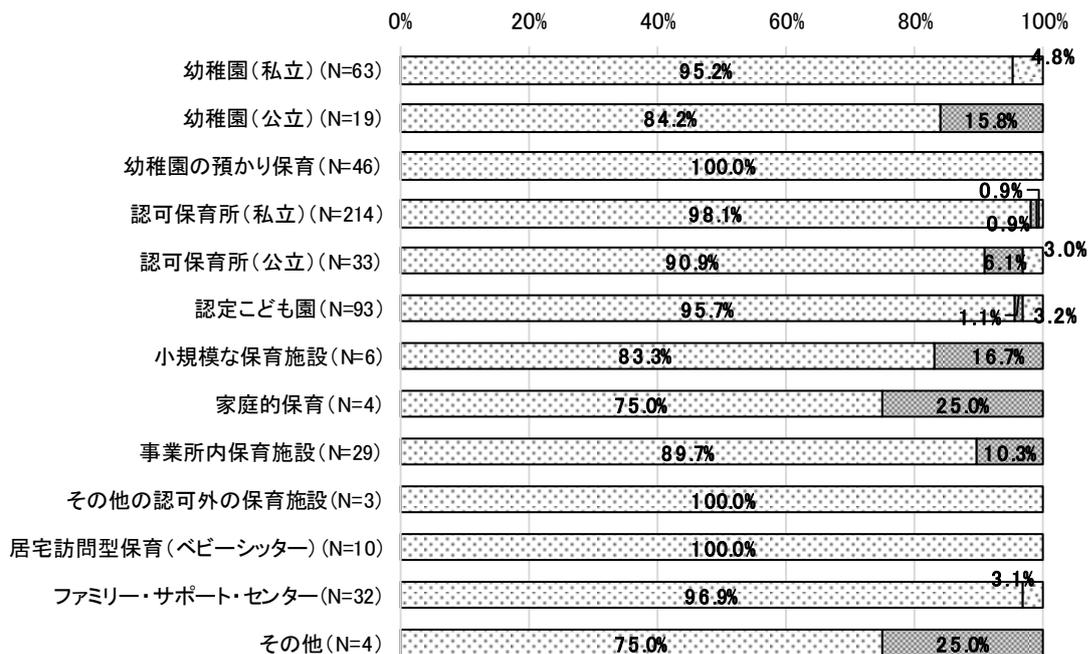
今後定期的に利用したい教育・保育事業についてみると、「認可保育所（私立）」が 58.6% で最も高く、次いで「認定こども園」の 25.5% となっています。利用したい場所は、ほとんどの事業において、「鹿島市内」を望まれています。

すべての方にお伺いします。

問 11. 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業として、今後「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）。また、選択した事業について、利用したい場所もそれぞれお答えください。



<場所>



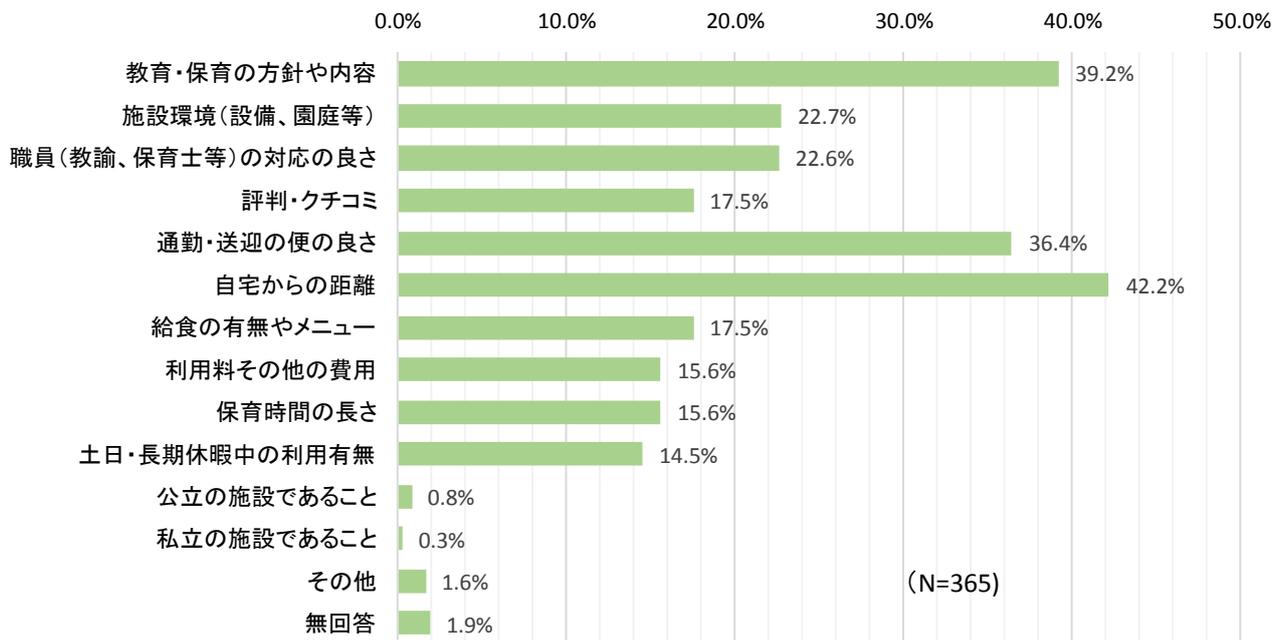
□ 鹿島市内 □ 他の市町 □ 無回答

6-2. 保育サービスに重視したいことについて

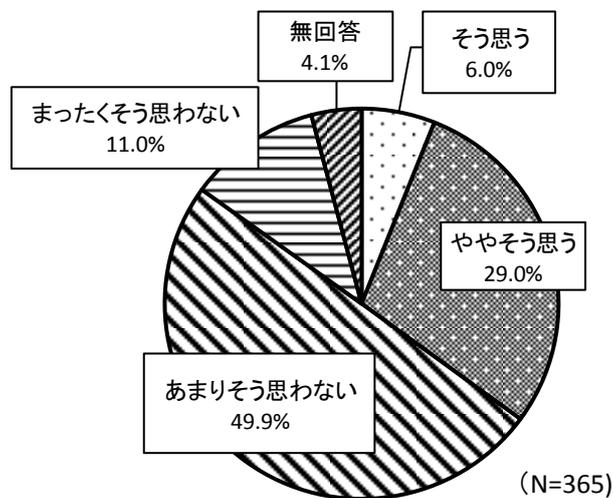
お子さんが利用する施設を選ぶ際に重視したいことについてみると、「自宅からの距離」が42.2%で最も高く、次いで「教育・保育の方針や内容」の39.2%となっています。以下「通勤・送迎の便の良さ」(36.4%)、「施設環境(設備、園庭等)」(22.7%)、「職員(教諭、保育士等)の対応の良さ」(22.6%)と続いています。

お子さんの教育・保育の事業にもっと費用をかけたいと思う人の割合をみると、「そう思う」「ややそう思う」を含めると35.0%にとどまっており、「費用をかけたい」と思う人の割合は低めになっています。

問 11-1. お子さんが利用する施設を選ぶ際に、重視したいことは何ですか。(3 つまで○)



問 11-2. お子さんの教育・保育事業などにもっと費用をかけたいと思われませんか。(1 つに○)



7. 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

休日の定期的な教育・保育の事業の利用希望についてみると、土曜日は「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回利用したい」を含めた割合が64.7%と6割以上が利用を希望しています。日曜日は「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回利用したい」の割合が23.6%となっており、土曜日と比べると低いものの、約4人に1人が利用を希望しています。

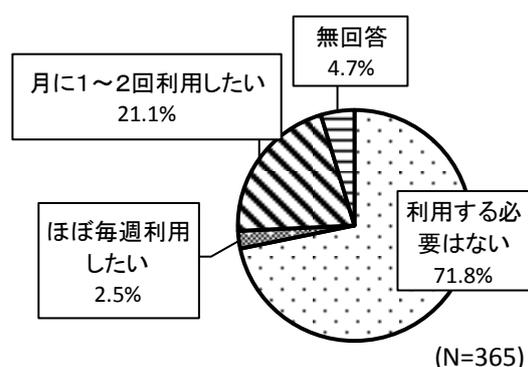
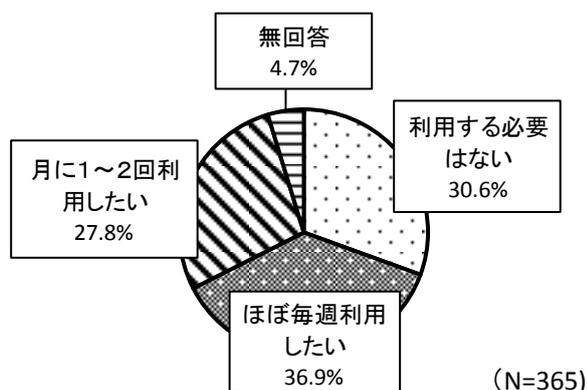
また現在幼稚園を利用している方のうち、長期休暇中の利用希望についてたずねたところ、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」を含めると15.8%と、幼稚園利用者の約3分の2が長期休暇中の利用を希望しています。

すべての方にお伺いします。

問 12. お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。それぞれの中から該当する番号に○をつけてください。（1つに○）

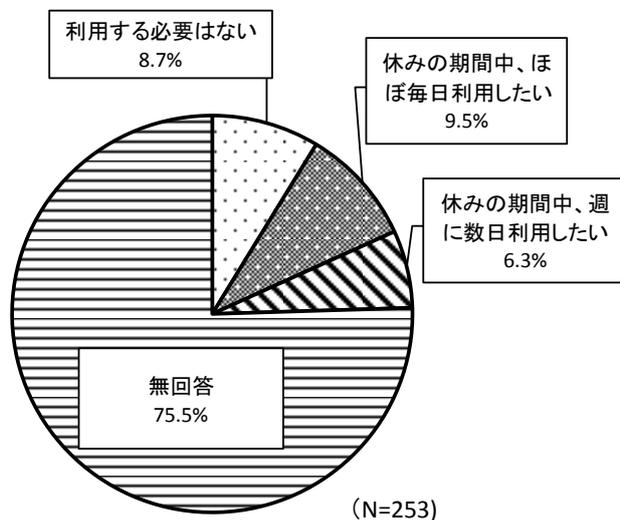
(1) 土曜日

(2) 日曜日・祝日



現在、幼稚園を利用している方にお伺いします。利用していない方は、問 14 にお進みください。

問 13. お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休暇中の預かり保育の利用希望はありますか。該当する番号に○をつけてください。（1つに○）



8. 一時預かりについて

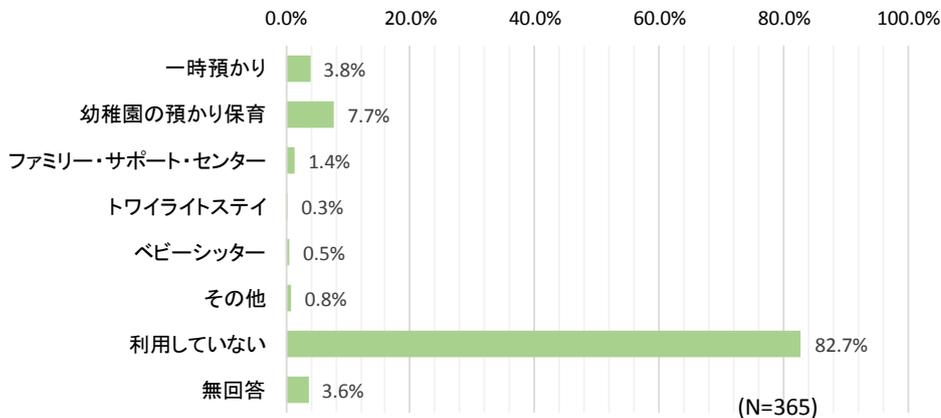
8-1. 過去1年間に家族以外に一時的に預けたこと

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業についてみると、「幼稚園の預かり保育」が7.7%、「一時預かり」が3.8%、「夜間養護等事業：トワイライトステイ」が0.3%にとどまっており、「利用していない」の割合が8割以上となっています。

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を利用する必要についてみると、「利用したい」が37.5%となっており、その利用目的は「私用・リフレッシュ目的（58.4%）」「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院など（57.7%）」が主となっており5割を超えています。

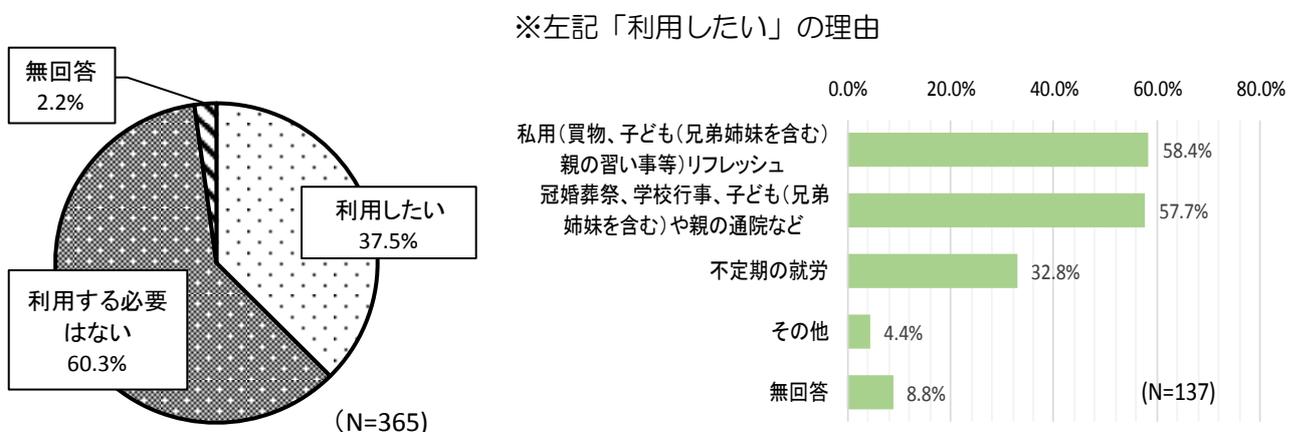
すべての方にお伺いします。

問 14. お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（あてはまるものすべてに○）



すべての方にお伺いします。

問 15. お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい問 14 のような事業を利用する必要がありますか。該当する番号に○をつけてください。

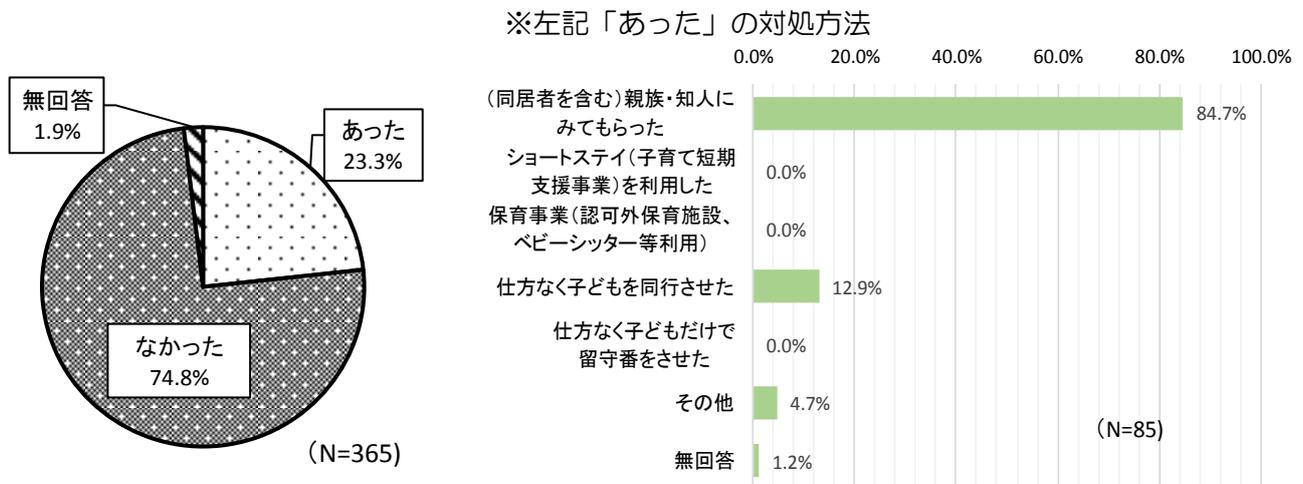


8-2. 宿泊を伴う一時預かりについて

この1年間に、保護者の用事などにより、お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならない経験についてみると、「あった」が23.3%となっています。その対処方法についてみると、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が84.7%と大半を占めており、次いで「仕方なく子供を同行させた」の12.9%と続いています。

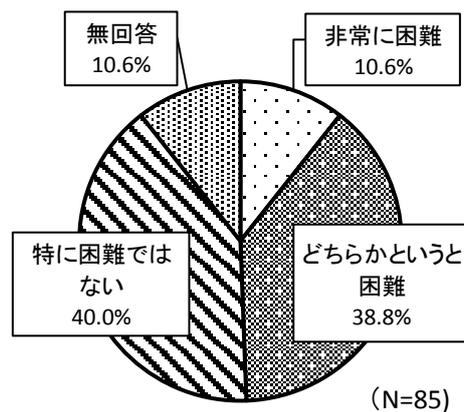
また、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」場合の困難度としては、「非常に困難」「どちらかという困難」を含め困難が49.4%と半数を超えています。

問 16. この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます)。



問 16 で「1. あった①(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」に○をした方にお伺いします。

問 16-1. その場合の困難度はどの程度でしたか。(1つに○)



9. 放課後児童クラブについて

9-1. 平日の放課後の過ごし方(低学年の時)

小学校低学年時に放課後を過ごさせたい場所についてみると、「放課後児童クラブ（公営）」が 55.0%で最も高く、次いで「自宅」の 46.7%、「習い事（ピアノ、学習塾、スイミング）」の 35.8%と続いています。また放課後児童クラブの利用希望日数は、「5 日」が 50.0%で全体の半数を占めています。

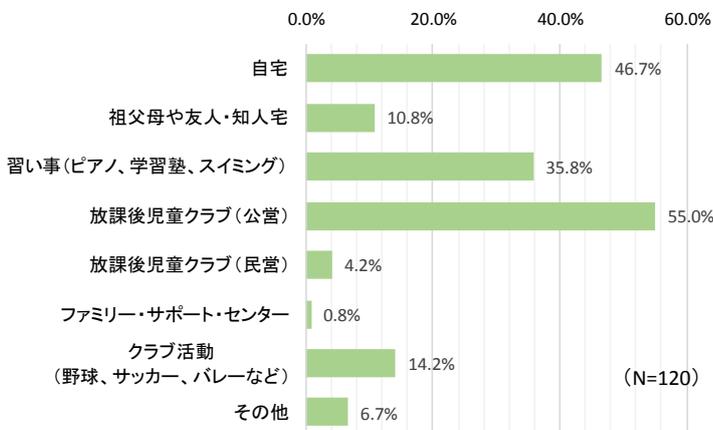
小学校高学年時になると、「自宅」の 58.7%が最も高く、次いで「習い事（ピアノ、学習塾、スイミング）」（42.7%）、次いで「クラブ活動（野球、サッカー、バレーなど）」（41.3%）の順となっており、「放課後児童クラブ」は 28.0%となっています。

またその利用希望日数を見ていると、小学校低学年時に最も高かった「5日（57.6%）」が、高学年時になると低い割合に推移していることがわかります。

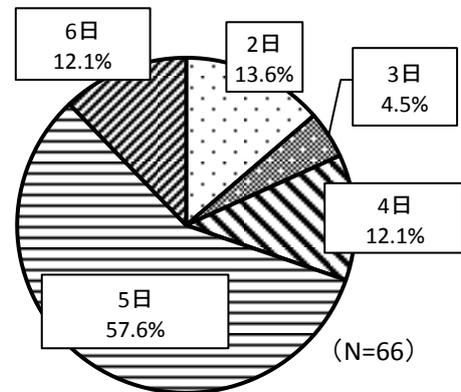
お子さんの年齢が5歳以上の方にお伺いします。該当しない方は、問 18 へお進みください。

問 17. お子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。小学校低学年(1~3年生)、高学年(4~6年生)それぞれについてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

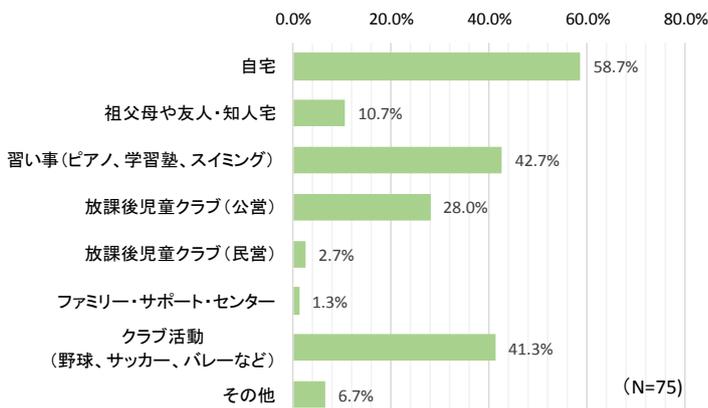
【低学年】



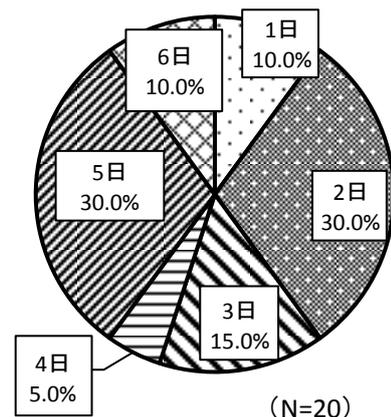
放課後児童クラブ(公営)



【高学年】



放課後児童クラブ(公営)



10. 育児休業制度等の利用状況

10-1. 育児休業制度の利用の有無

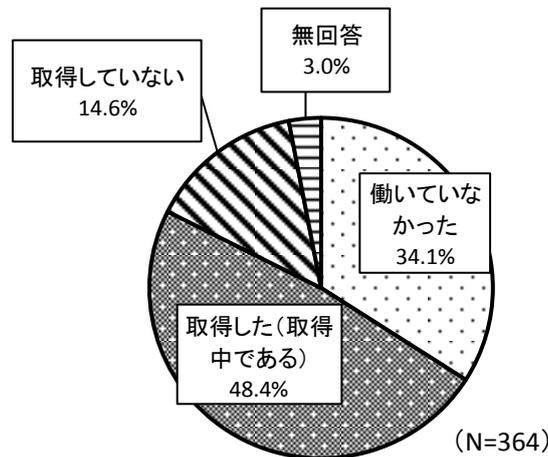
お子さんが生まれた時の育児休業取得の有無についてみると、母親は「取得した（取得中である）」が48.4%、「取得していない」が14.6%となっています。取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が47.2%で最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の30.2%となっています。

父親についてみると、「取得していない」が78.4%を占めており、その理由としては「仕事が忙しかった」（43.6%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（35.9%）、「配偶者が育児休業制度を利用した」（35.5%）などとなっています。

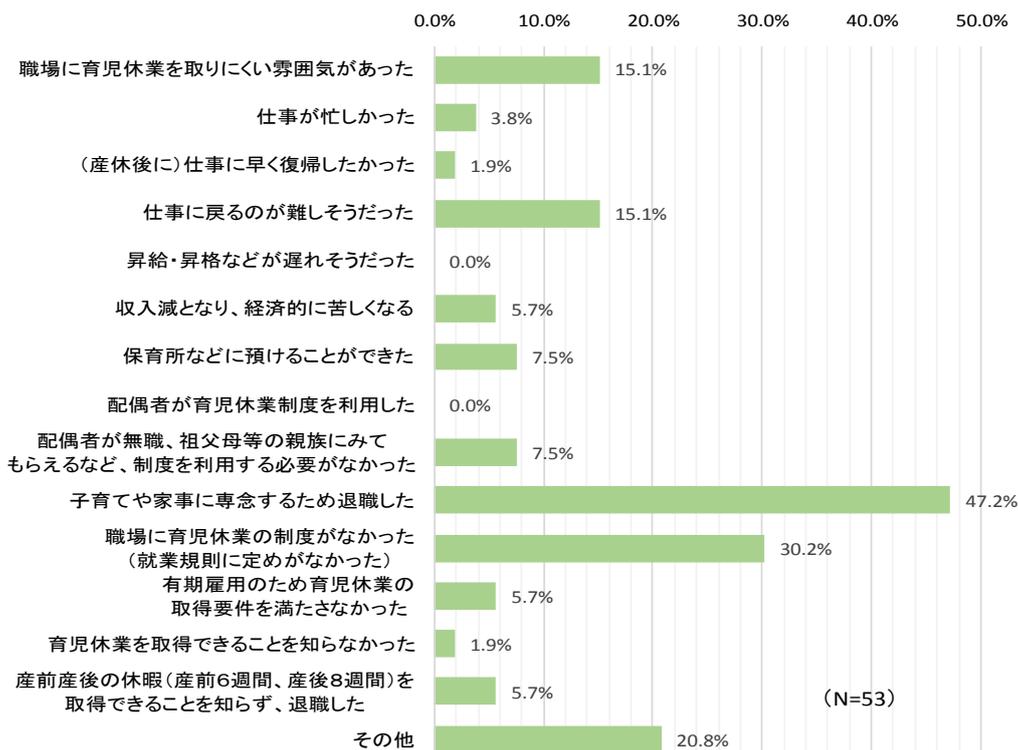
すべての方にお伺いします。

問 18. お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。（①母親、②父親ごと1つに○） また、取得していない理由は何ですか。（3つまでに○）

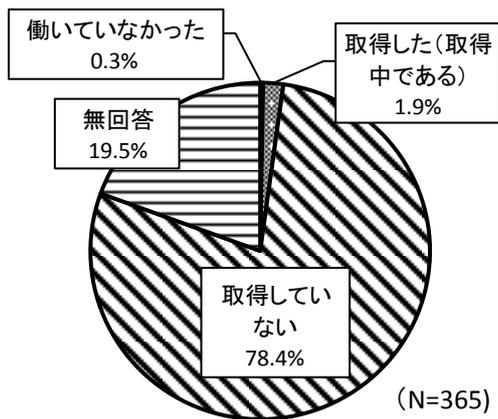
(1) 母親



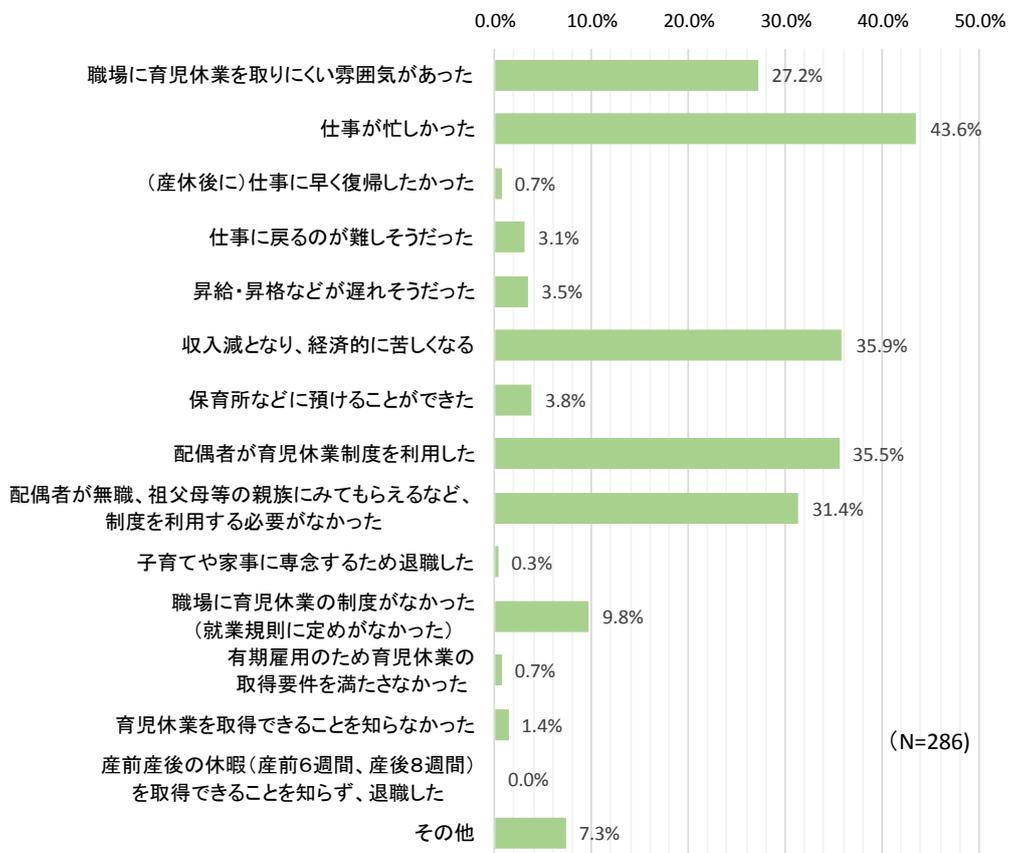
【取得していない理由】



(2) 父親



【取得していない理由】



10-2. 育児休業取得後の対応等(母親のみ)

育児休業取得後の職場復帰についてみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が75.0%で約8割が職場復帰しています。復帰のタイミングについて、「年度初めの保育所入園に合わせた」人の割合は27.3%で、「それ以外だった」が72.0%を占めています。

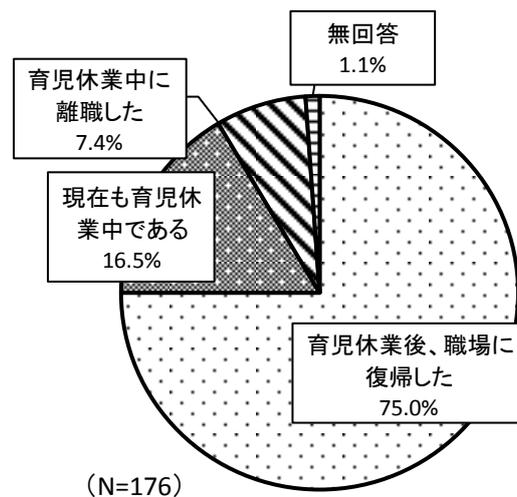
取得期間については、お子さんが平均1歳4ヶ月ごろまで取得することを希望していますが、実際はお子さんが平均11ヶ月ごろに職場復帰をしており、希望より「早い」人が38.9%、希望と「同じ」人は32.1%となっています。

希望より早く復帰した方の理由をみると、「経済的な理由で早く復帰する必要があった(39.7%)」「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため(38.1%)」が約4割を示しています。

「現在も育児休業中である」と答えた方に対し、お子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育所等があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかどうかをたずねたところ、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が86.2%となっています。

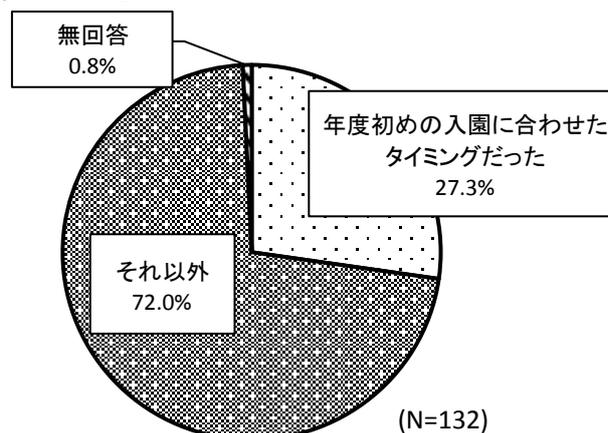
問18で母親が「2 取得した(取得中である)」に○をした方にお伺いします。該当しない方は、問21へお進みください。

問19. 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(1つに○)



問19で「1」に○をした方にお伺いします。

問19-1. 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(1つに○)

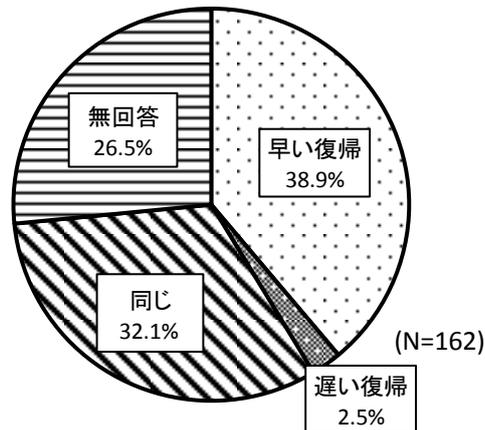


問 19-2. 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

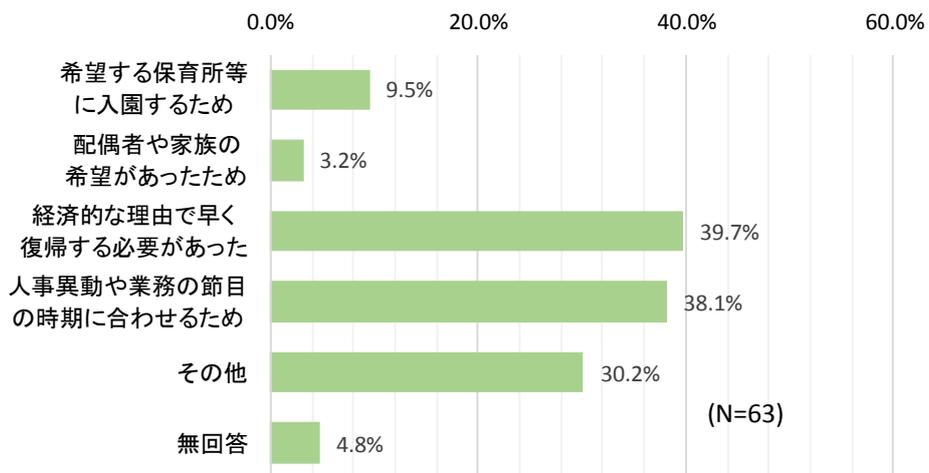
■実際の取得期間 平均 約 11.4 ヶ月 ■希望 平均 約 1 歳 4 ヶ月

問 19-2 で実際の復帰と希望が異なる方にお伺いします。

問 19-3. 実際の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

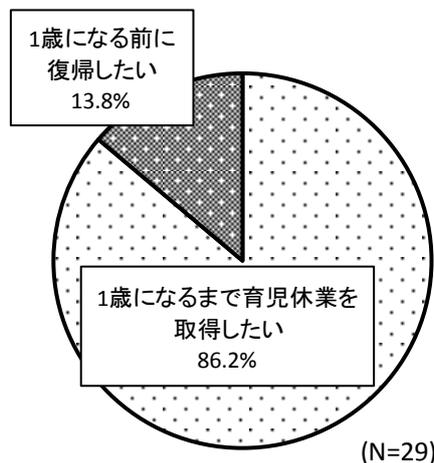


【希望より早く復帰した方】



問 19 で「2」に○をした方にお伺いします。

問 19-4. お子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育所等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる保育所等があっても1歳になる前に復帰しますか。(1つに○)



11. 子育て支援サービスについて

【認知度】

各種子育て支援サービスの認知度についてみると、「④乳幼児健診・各種予防接種」（91.5%）、「③子どもの医療費助成」（89.6%）は認知度約 9 割となっています。次いで「⑥むし歯予防（フッ素物塗布）」（87.4%）、「⑧離乳食・幼児食教室」（86.0%）の順となっています。

【利用度】

認知度が高めであった「④乳幼児健診・各種予防接種」（92.6%）、「③子どもの医療費助成」（84.9%）については、利用度も高く 8 割を超えています。一方、認知度が低めであった「⑨子育て短期支援事業」、「⑪親子による生涯学習事業」、「⑫家庭相談室」は利用率が極めて低く、まずは認知度をあげるための展開が望まれます。

【満足度】

各種子育てサービスについて、「満足している」に「いいえ」と答えた割合はいずれも 10% 未満と低く一定の満足度を得ていることが伺えます。

【利用意向】

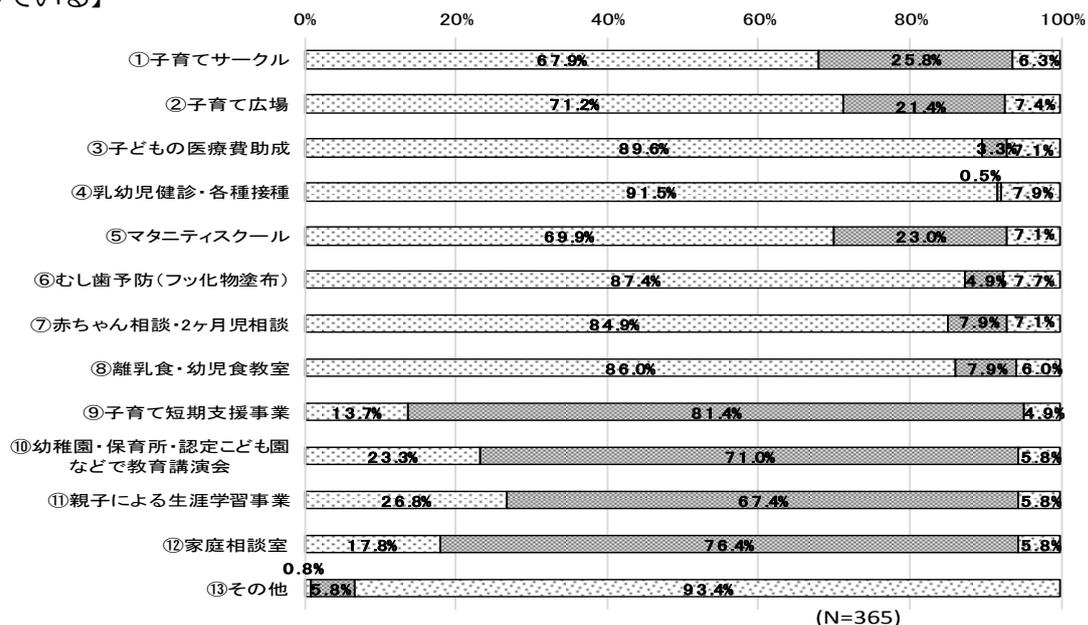
今後の利用希望についてみると、「③子どもの医療費助成」（72.9%）、「④乳幼児健診・各種予防接種」（70.7%）とともに 7 割を超え堅調です。「⑤マタニティスクール」「⑨子育て短期支援事業」「⑫家庭相談室」はいずれも利用意向が 10%～20%台と低めになっています。

すべての方にお伺いします。

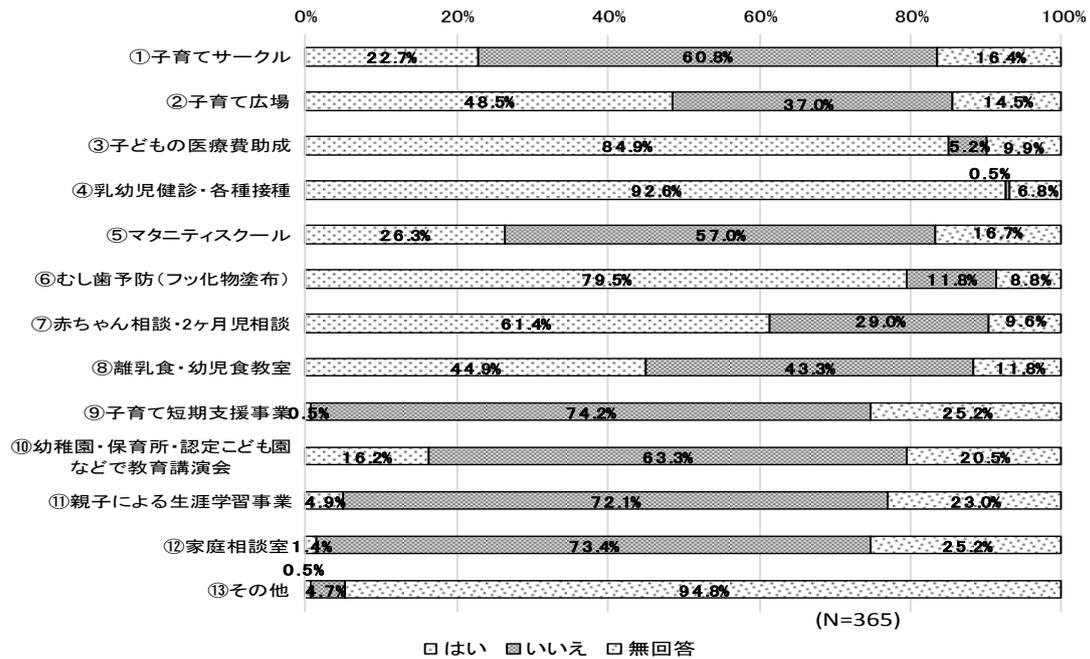
問 21. 下記の①～⑬のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。利用したことがあるサービスについては満足していますか。また、今後利用したいと思いますか。

（サービスごとに、A～C のそれぞれについて、1つに○）

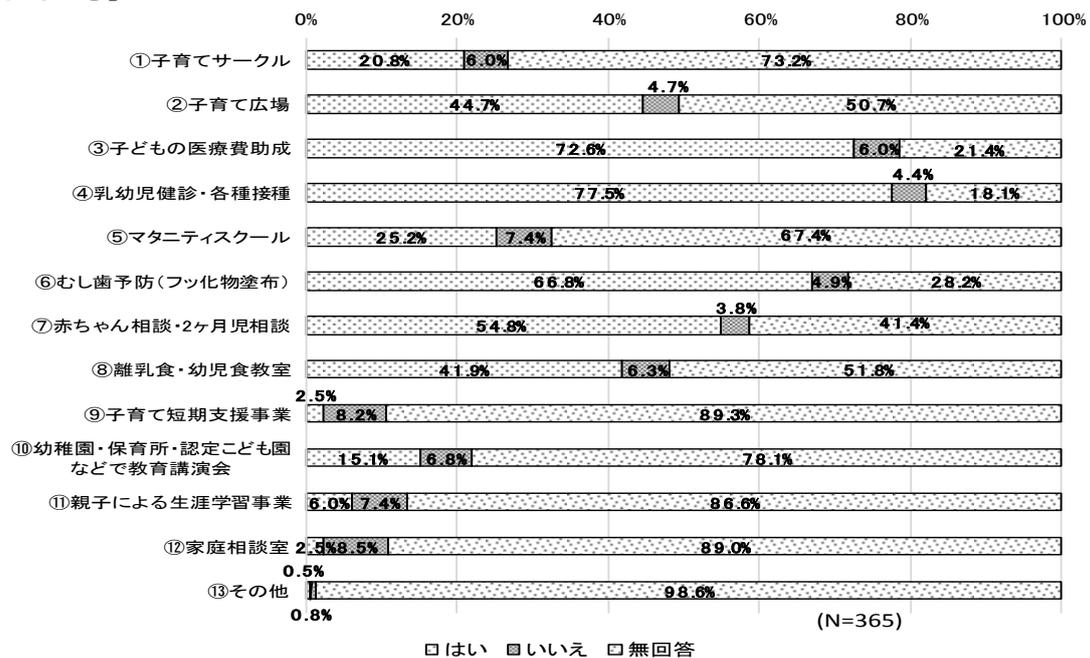
【知っている】



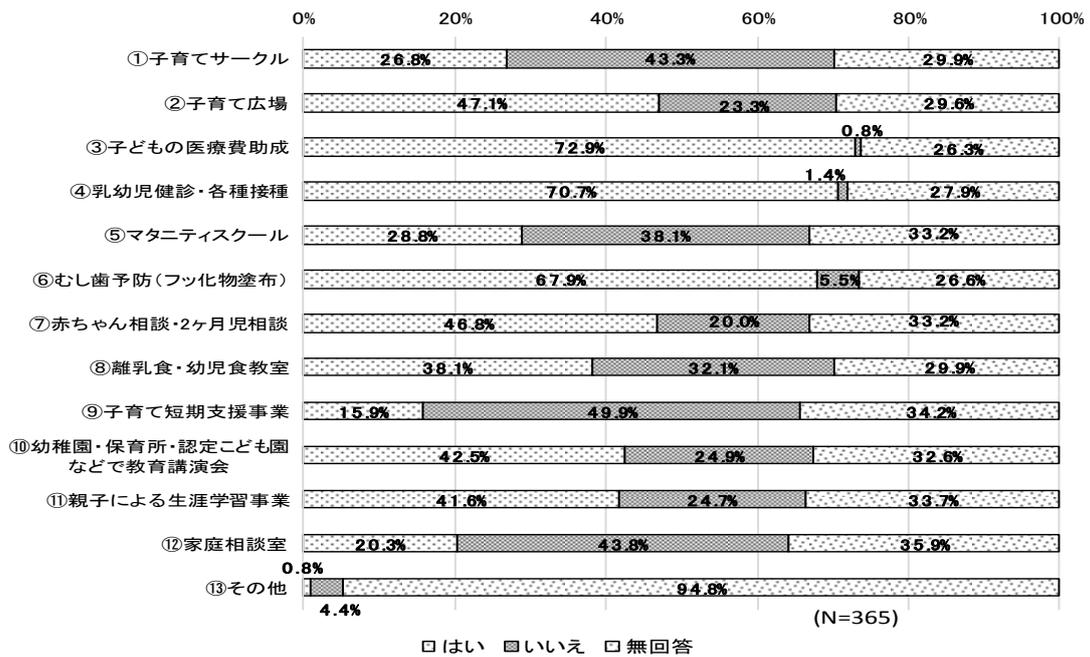
【利用したことがある】



【満足している】



【今後、利用したい】



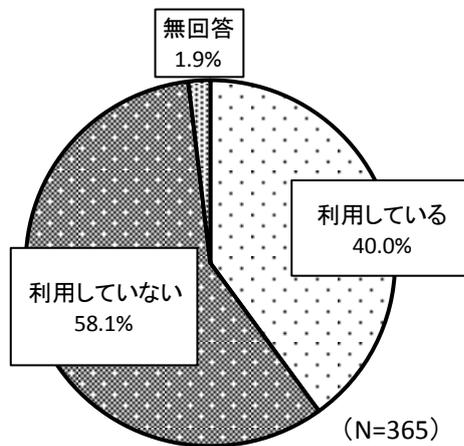
12. 地域子育て支援拠点事業について

12-1. 利用状況と利用していない理由

子育て支援センターの利用状況についてみると、「利用している」と答えた方は 40.0% となっています。利用していない理由についてみると、「普段は幼稚園や保育所などに通わせているため必要ない」が 51.1% で 5 割以上を占めており、次いで「忙しいから（時間がないから）」（8.3%）、「子育て支援センターの利用方法がわからない」（4.8%）となっています。しかしながら、前回の策定期に回答した割合（7.6%）よりも認知度は高くなっていることが伺えます。

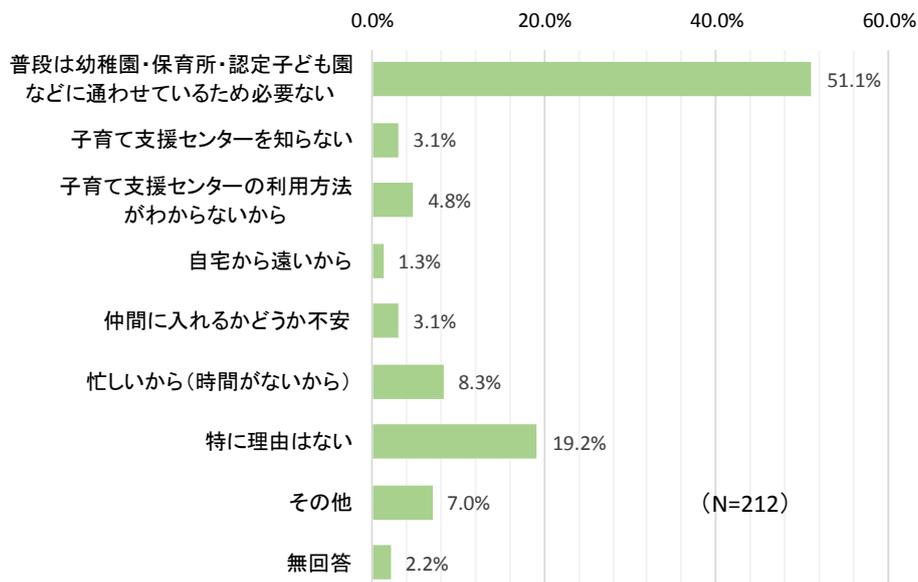
すべての方にお伺いします。

問 22. お子さんは現在、子育て支援センターを利用していますか。（1 つに○）



問 22 で「2」に○をした方にお伺いします。

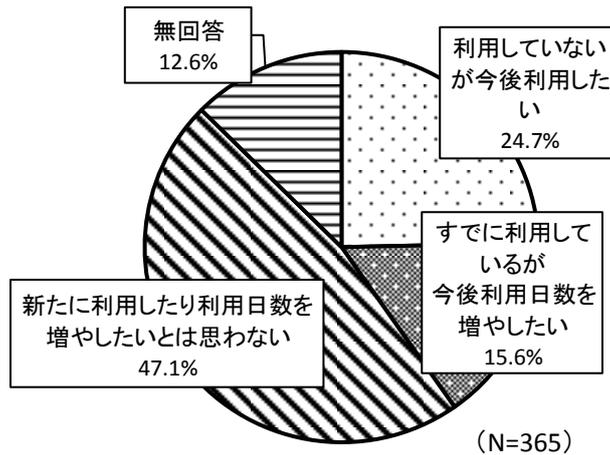
問 22-1. 利用していない理由はどのようなことですか。（1 つに○）



1 2-2. 今後の利用希望等

子育て支援センターの今後の利用希望についてみると、「利用していないが、今後利用したい」は 24.7%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 15.6%と、利用を希望する割合は 40.3%となっています。今後も利用希望者に対し、利用方法の周知など利用しやすい環境づくりの展開が求められています。

問 23. 子育て支援センターについて、現在は利用していないができれば今後利用したい、あるいは利用頻度を増やしたいと思いませんか。(1つに○)

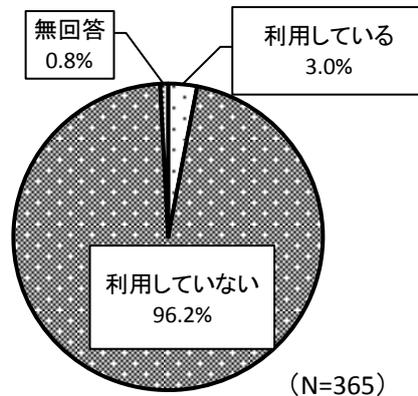


13. ファミリー・サポート・センター事業について

13-1. 利用状況と利用していない理由

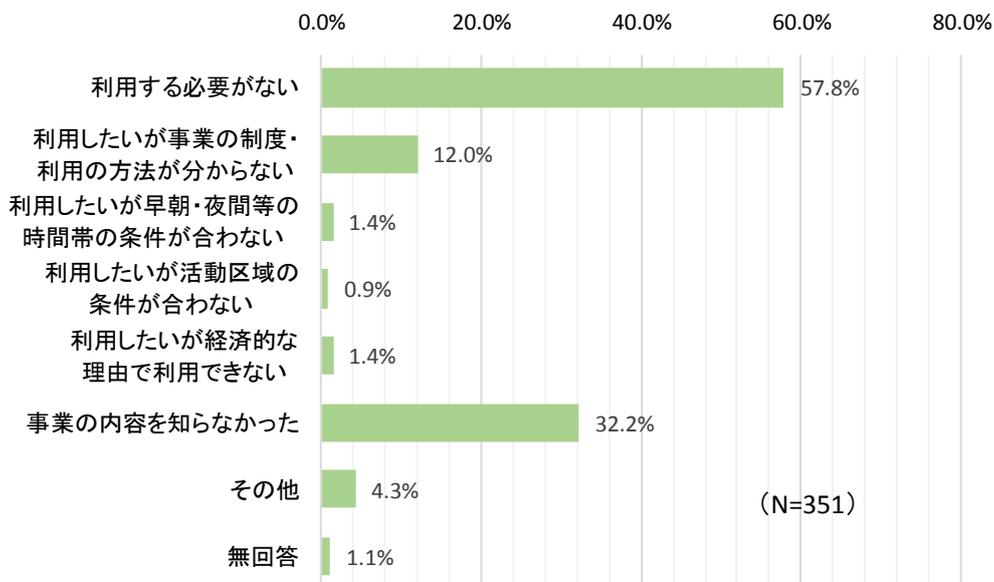
ファミリー・サポート・センター事業の利用状況についてみると、「利用している」と答えられた方はわずか 3.0%となっています。利用していない理由についてみると、「利用する必要がない」が 57.8%で5割以上を占めており、次いで「事業の内容を知らなかった」(32.2%)、「利用したいが事業の制度・利用の方法が分からない」(12.0%)となっています。本事業の更なる認知度を高め、利用方法を広く周知させるための取り組みが必要となっています。

問 24. 現在、ファミリー・サポート・センターを利用していますか。(1つに○)



問 24 で「2」に○をした方にお伺いします。

問 24-1. 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



14. 子育て全般について

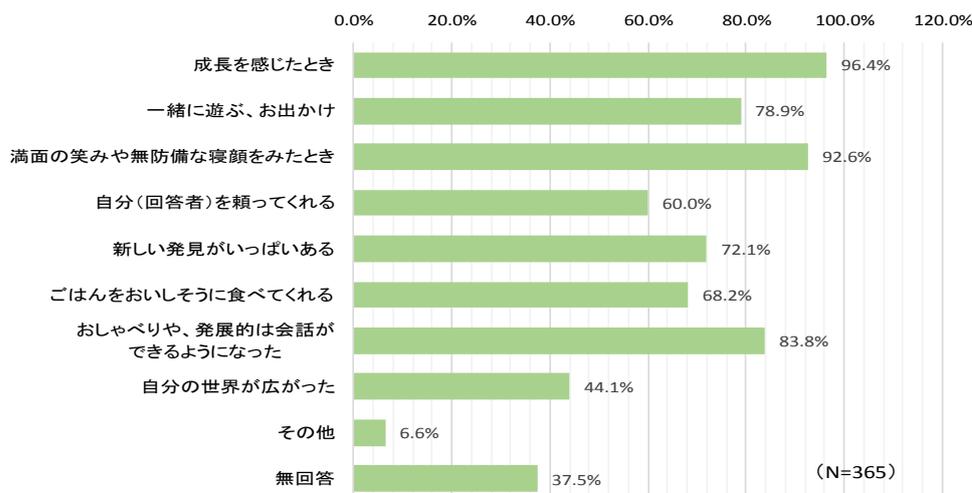
14-1. 子育てに関する悩みについて

「子育ての「楽しさ」や「喜び」を感じるのはどのようなときですか」という質問に対し、「成長を感じたとき」「満面の笑みや無防備な寝顔をみたとき」が9割を超える回答となりました。自分の子どもに対してのどのような不安や悩みを持っているかについてみると、「しつけ」が46.3%と高く、次いで「食事や栄養」(35.9%)、「友達づきあい」(30.4%)の順となっています。さらに、子育てをする上でどのような不安や悩みを持っているかについてみると、「経済面(出費がかさむ)」が46.3%、次いで「子どもを叱りすぎたり、世話をしなかつたりしてしまう」(35.9%)、「子育てによる疲れが大きい」(30.4%)と、子育ての面で出費がかさむ不安や思うような育児ができない保護者の声が伺えます。

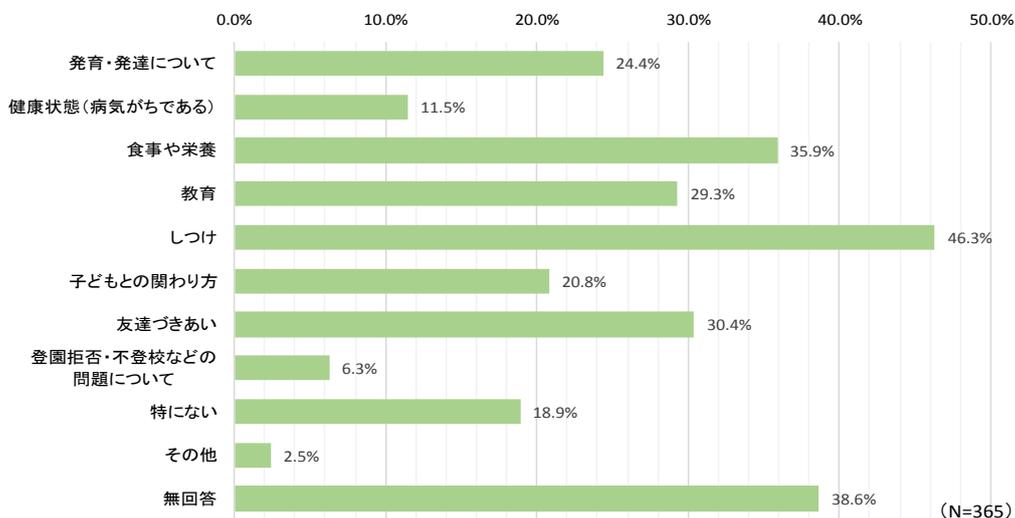
子育てについて相談する相手についてみると、「親族(親・きょうだいなど)」87.9%、「近所の人・知人・友人」59.2%、「職場の人」41.4%の3項目が高くなっており、自分の身近にいる相談相手を選んでいます。一方、「市役所や市の機関」等の公的相談機関は数%と極めて低率となっています。

すべての方にお伺いします。

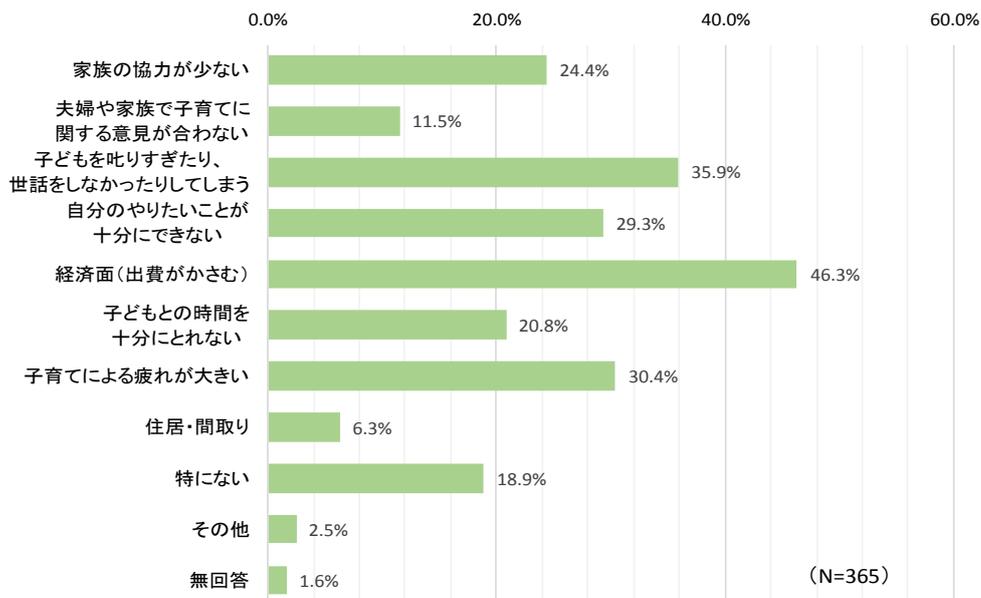
問 25. 子育ての「楽しさ」や「喜び」を感じるのはどのようなときですか。(あてはまるものすべてに○)



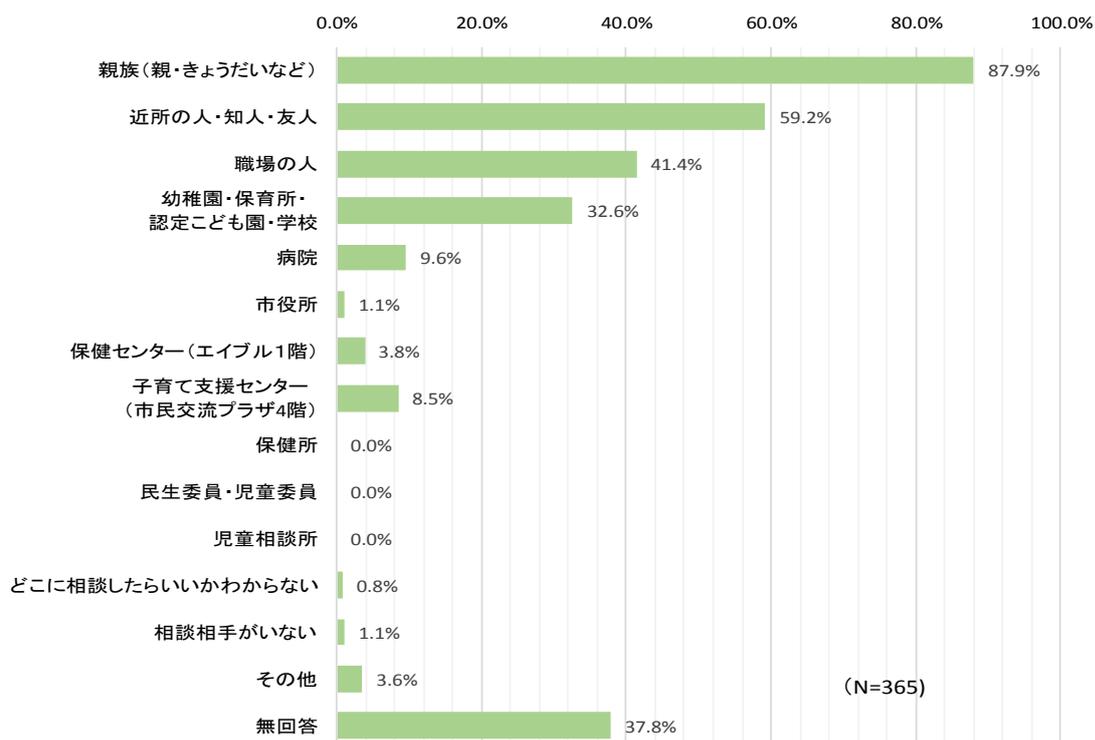
問 26. お子さんについてどのような不安や悩みを持っていますか。(あてはまるものすべてに○)



問 27. 子育てをする上で、どのような不安や悩みを持っていますか。(あてはまるものすべてに○)



問 28. 子育てについて不安に思ったり、困ったりすることや分からないことがある場合、だれに(どこ)に相談されますか。(あてはまるものすべてに○)

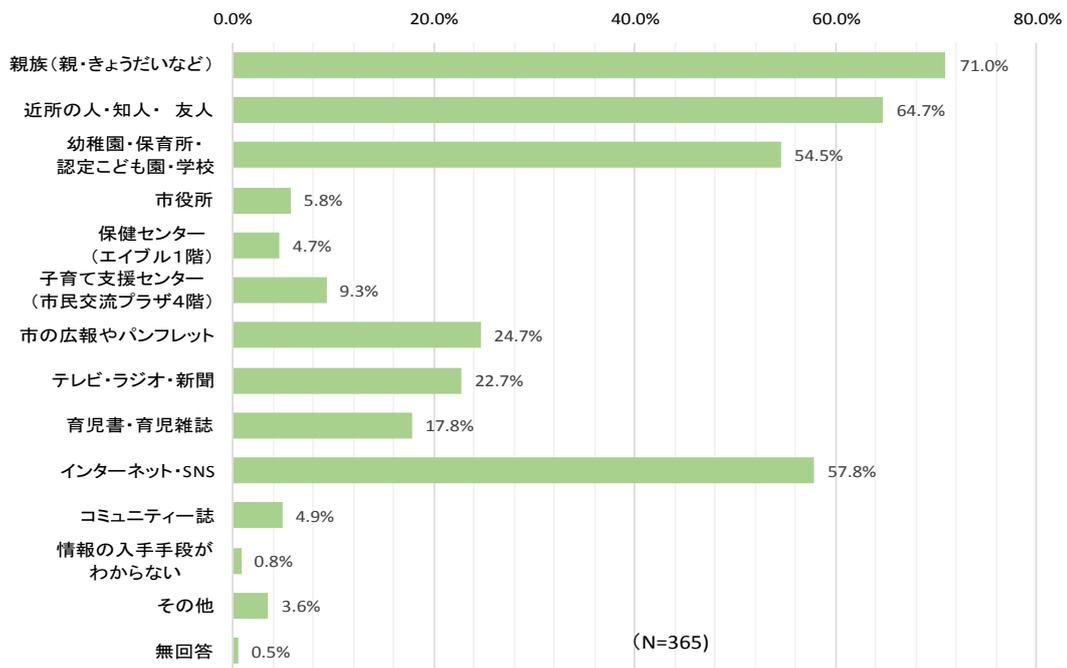


1 4-2. 子育てに関する情報の入手先

子育てに関する情報の入手先についてみると、「親族（親・きょうだいなど）」の 71.0%が最も高く、次いで「近所の人、地域の知人・友人」の 64.7%、「インターネット・SNS」の 57.8%の順で、この 3 項目が高くなっています。

近年の急速なインターネットの普及によってもたらされた情報化社会の影響により前回の割合であった 35.1%と比較すればかなり伸びています。そのほか、「幼稚園・保育所・認定こども園・学校」(54.5%)、「市の広報やパンフレット」(24.7%)、「テレビ・ラジオ・新聞」(22.7%) など情報の入手先は多様化しています。

問 29. 子育てに関する情報をどのように入手されていますか。(あてはまるものすべてに○)

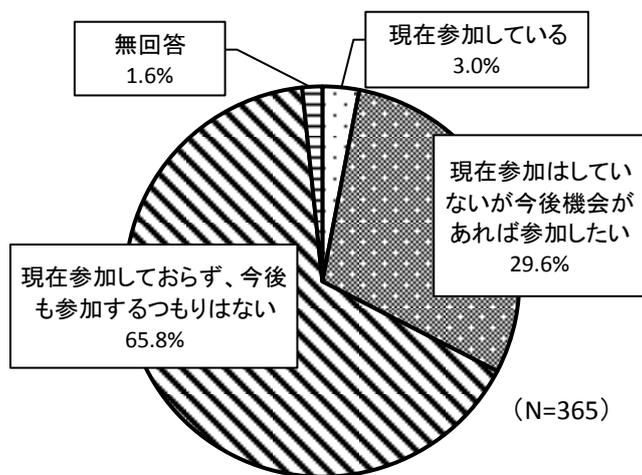


1 4-3. 子育てに関する自主的な活動について

子育てに関する自主的な活動等についてみると、「現在参加している」は 3.0%にとどまっています。「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が 29.6%となっており、「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」と答えた割合は 6 割を超えています。

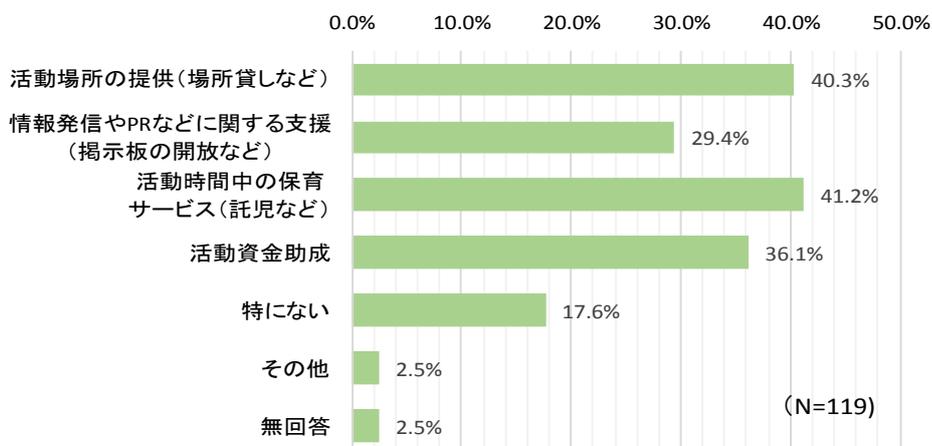
自主活動をしていくにあたり、行政に行ってほしい支援等についてみると「活動時間中の保育サービス（託児など）」が 41.2%で最も高く、次いで「活動場所の提供（場所貸しなど）」（40.3%）、「活動資金助成」（36.1%）の順となっています。

問 30. あなたは、子育てに関するサークル、クラブなど自主的な活動に参加していますか。（1つに○）



問 30 で「1」または「2」に○をした方にお伺いします。

問 30-1. 自主活動をしていくにあたって、行政に行ってほしい支援はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）



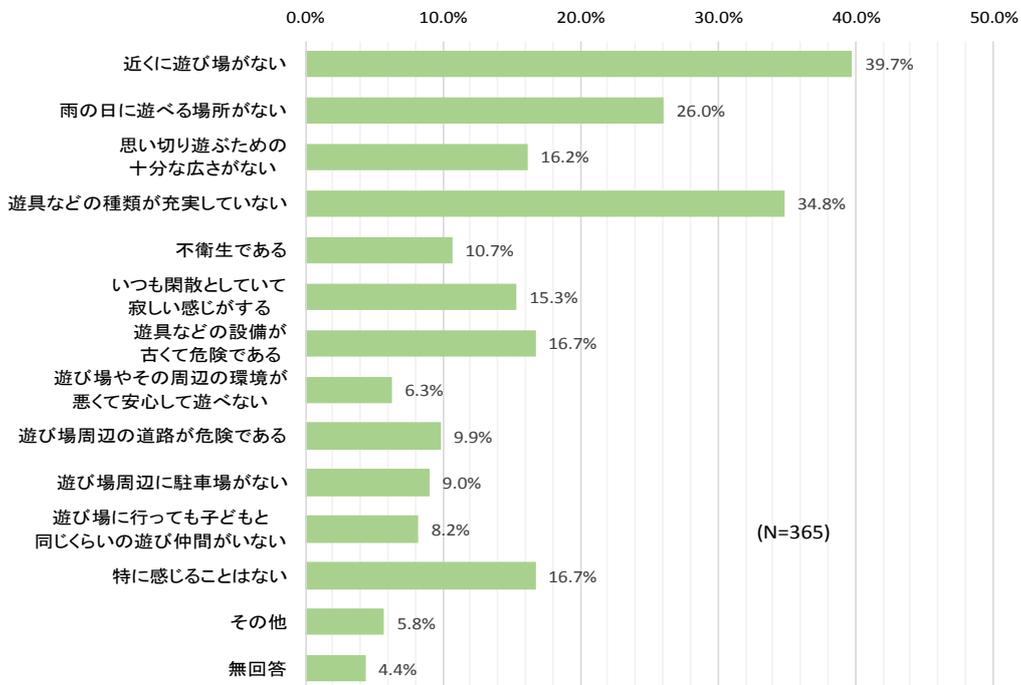
1 4-4. 子育て中に感じる地域の環境について

市内の子どもの遊び場について、日頃感じていることをみると、「近くに遊び場がない」が39.7%で高く、次いで「遊具などの種類が充実していない」34.8%と続いています。子どもの遊び場の充実に対するニーズがうかがえます。

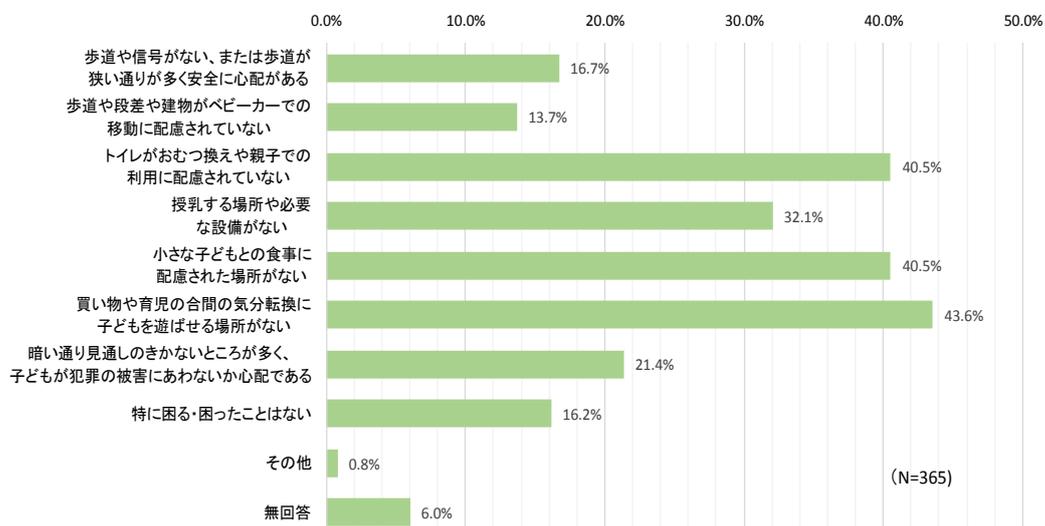
また、鹿島市子育て支援センターが市の中心部にて開設されてからは「雨の日に遊べる場所がない」の数値が前回 76.7%から 26.0%へ推移したことは利用者のニーズに応えている結果でもあるようです。

子どもと外出の際に困ること・困ったことについてみると、「買い物や育児の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」(43.6%)が最も高く、次いで「トイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていないこと」「小さな子どもとの食事に配慮された場所がない」(40.5%)と続いています。子ども連れの方が安心して外出できるための環境が望まれています。

問 31. 市内の子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)



問 32. 市内において子どもと外出する際、困ること・困ったことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



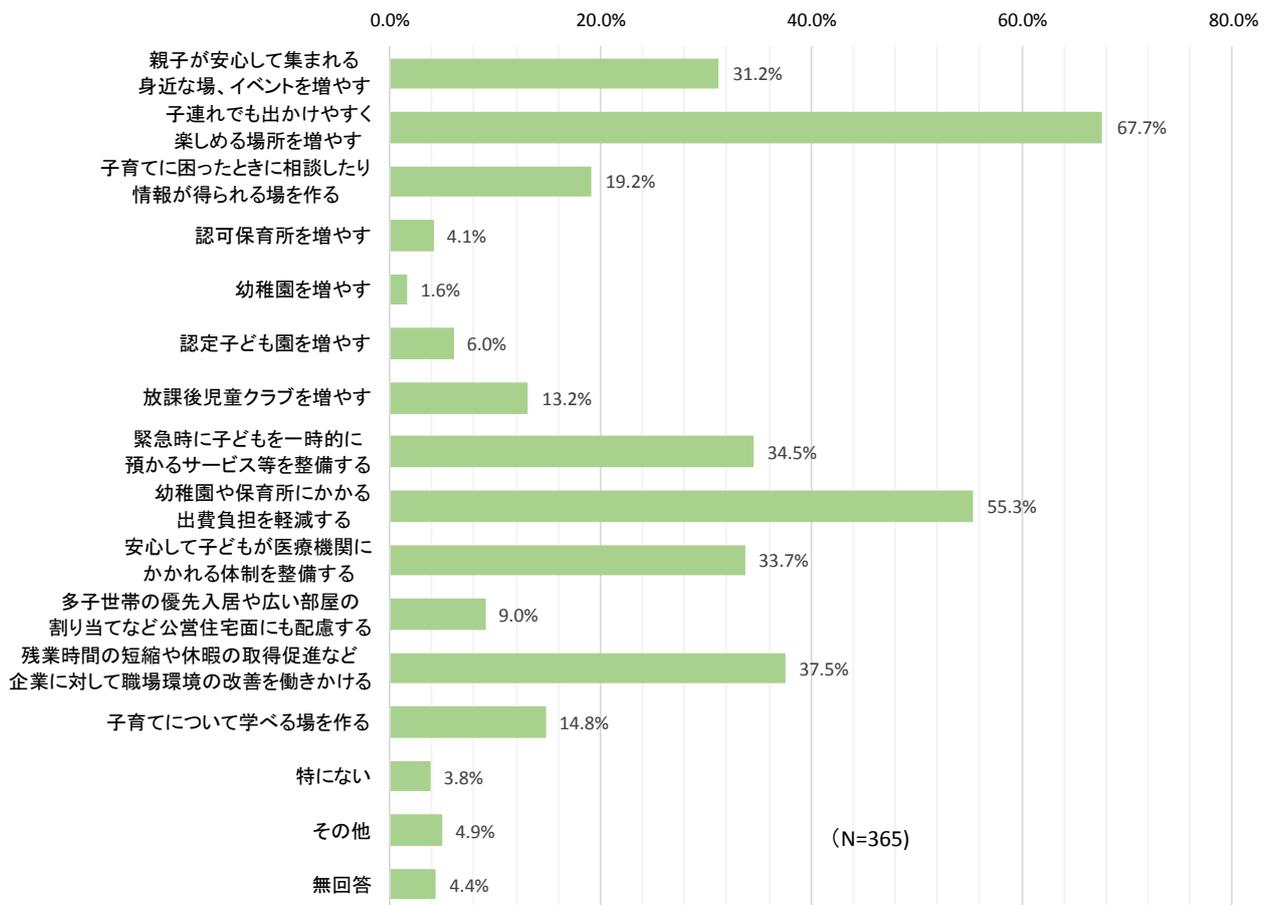
1 4-5. 行政に対する要望について

今後、充実すべきだと思う行政の子育て支援策についてみると、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やす」が 67.7%で最も高く、次いで「保育所や幼稚園にかかる出費負担を軽減する」(55.3%)、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など企業に対して職場環境の改善を働きかける」(37.5%)と続いています。

子連れでも安心して出かけられる場所やイベント、そして安心して子育てに取り組めるような保育サービスの出費補助や医療体制の整備、また親子の時間を大事にしたいという保護者の気持ちの表れがニーズとして高まっているようです。

問 33. 今後、行政はどのように子育て支援策を充実すべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに

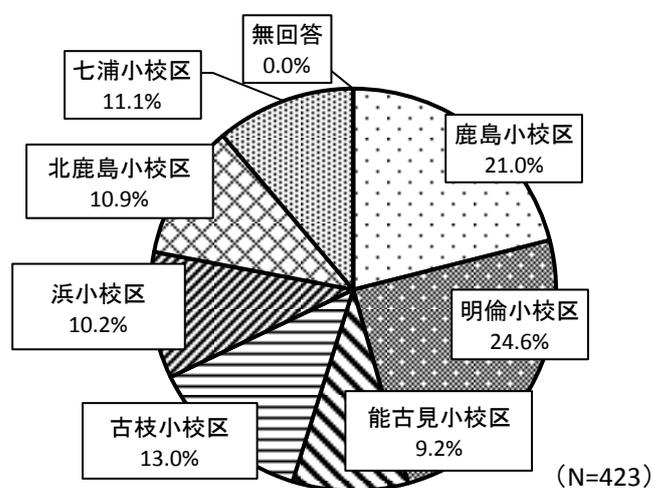
○)



Ⅲ 小学生児童調査結果

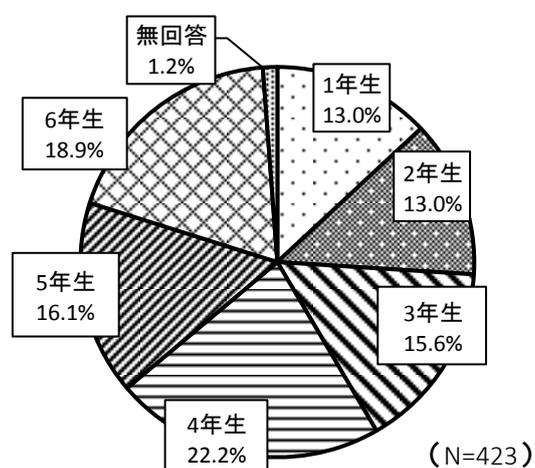
1. 対象者及び保護者の特性

問 1. お住まいの地区(小学校区)を教えてください。(1つに〇)

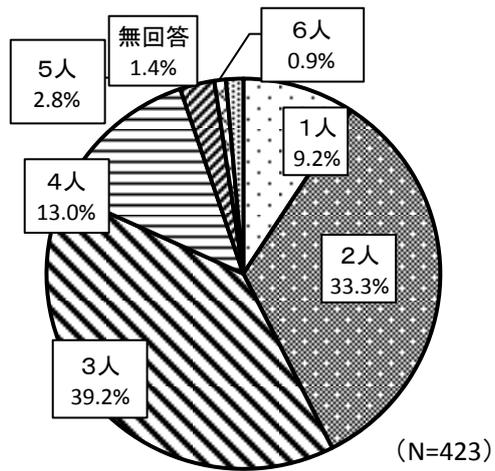


すべての方にお伺いします。

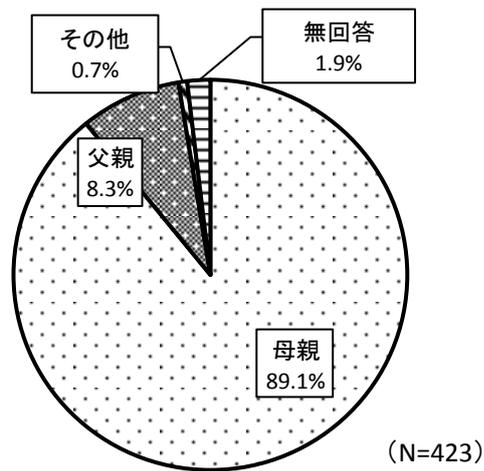
問 2. お子さんの生年月と学年をお聞きします。



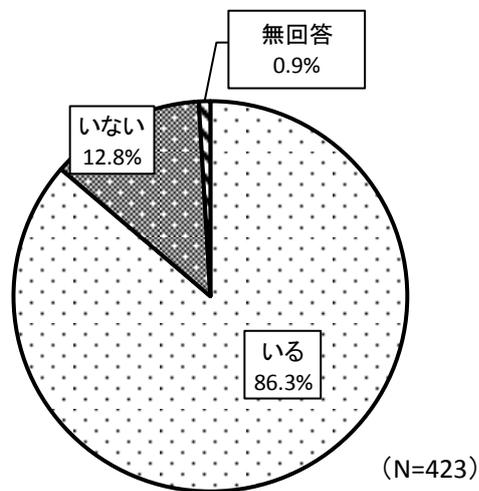
問 3. お子さんに兄弟姉妹は何人おられますか。お子さんを含めた人数をお答えください。



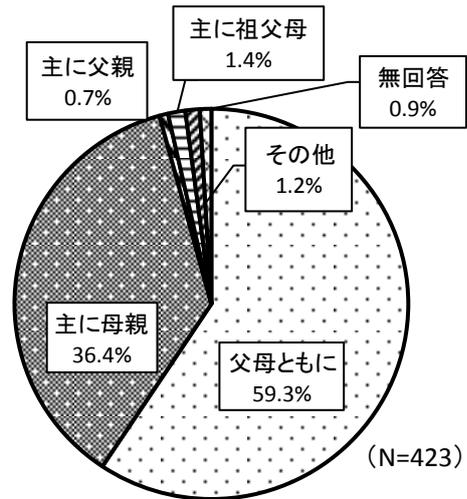
問 4. あなたは、お子さんからみて、続柄は何ですか。(1つに○)



問 5. あなたに配偶者はいらっしゃいますか。(1つに○)



問 6. お子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。(1つに○)



2. 保護者の就労状況について

2-1. 母親(父親)の就労形態

母親の就労状況をみると、「フルタイムで就労している」が 55.3%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労している」が 29.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 9.1%と続いています。父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労している」が 94.4%と大半を占めています。

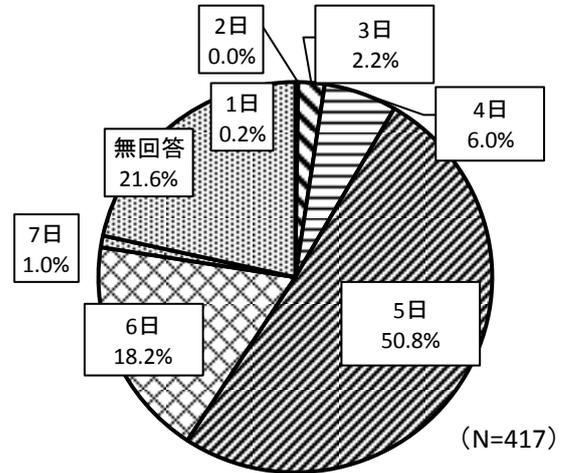
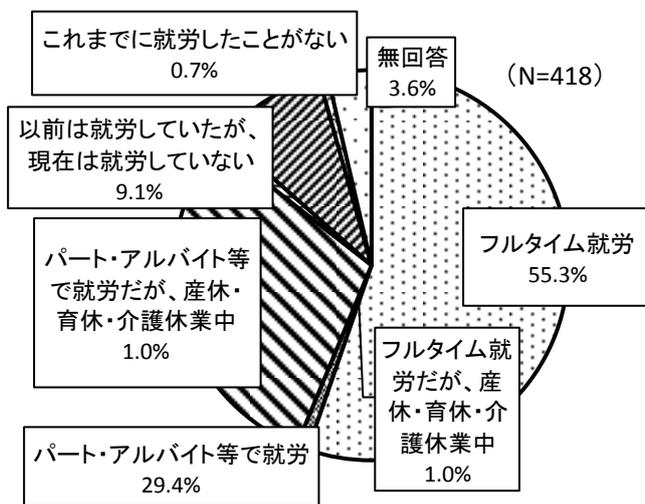
母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が 50.8%で最も高く、半数以上を占めています。次いで「6日」の 18.2%と続いています。父親の1週当たりの就労日数は、「6日」が 40.7%で最も高く、次いで「5日」の 37.8%となっています。

問 7. 現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をお伺いします。

(①母親、②父親それぞれあてはまる欄に○、選択肢によっては日数や時間等も回答)

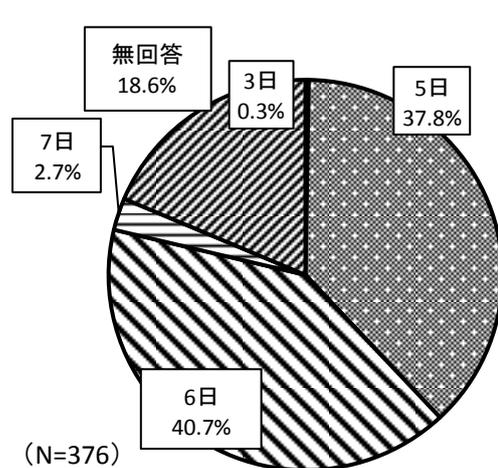
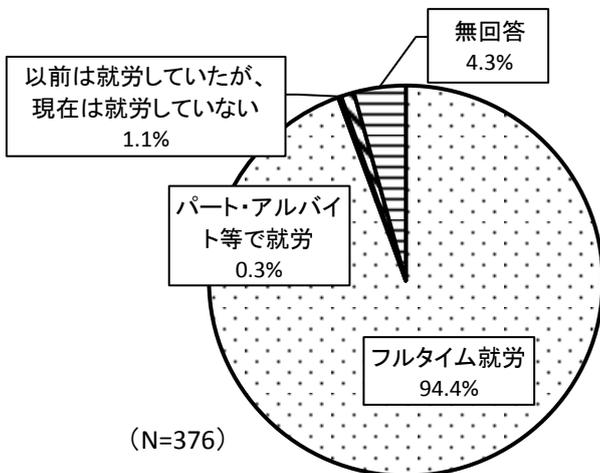
【母親】

【1週当たりの就労日数】



【父親】

【1週当たりの就労日数】

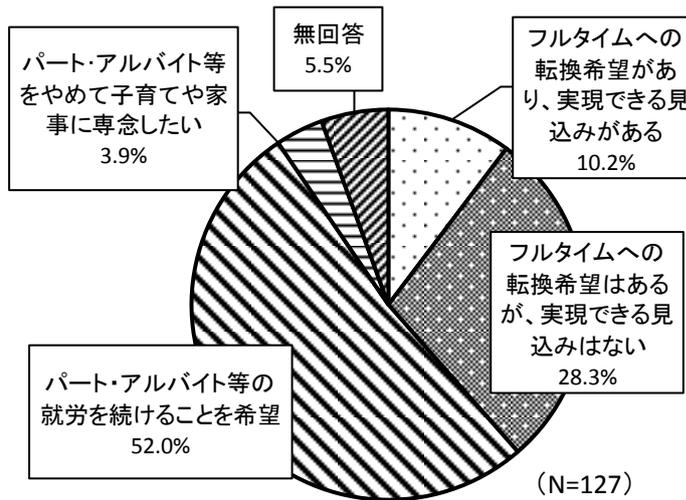


2-2. フルタイムへの転換希望（母親のみ）

母親のフルタイムへの転換希望についてみると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 52.0%で最も高くなっています。「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（28.3%）、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」（10.2%）と、全体的なフルタイムへの転換希望の割合は 38.5%ですが、実現できる見込みがあるのはそのうち 12.8%と、フルタイムへの転換の実現が厳しい状況がうかがえます。

問 7 で「3」または「4」に○をした方にお伺いします。

問 7-1. フルタイムへの転換希望はありますか。



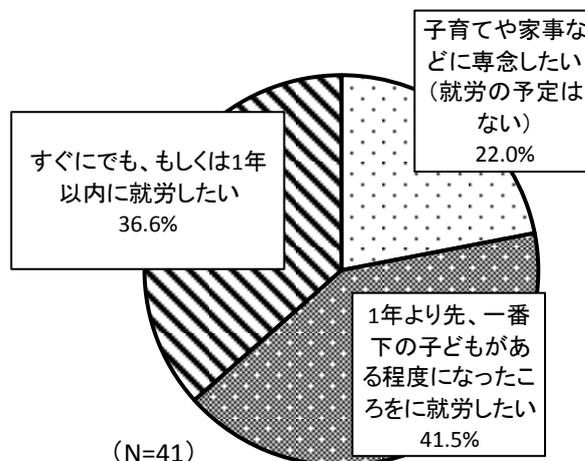
2-3. 現在就労していない母親の就労意向

(1) 就労意向

現在就労していない母親の就労意向についてみると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 36.6%、「1年より先、一番下の子どもがある程度になったころに就労したい」が 41.5%と、全体の就労意向は 78.1%で、就労意欲は強くなっています。

問 7 で「5」または「6」に○をした方にお伺いします。

問 7-2. 今後の就労希望はありますか。

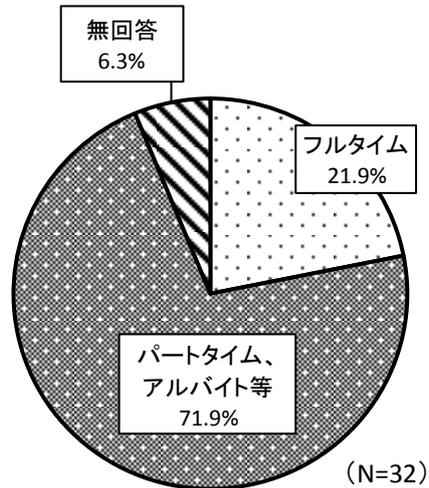


(2) 就労希望の形態

母親が希望する就労形態をみると、「パート・アルバイト等」が 71.9%となっています。子育てをしながら就労するには、フルタイム（21.9%）よりも短い時間で働く「パート・アルバイト等」を希望する割合が高いことがうかがえます。

問 7-2 で「2」または「3」に○をした方にお伺いします。

問 7-3. 就労希望の形態はどのようなものですか。



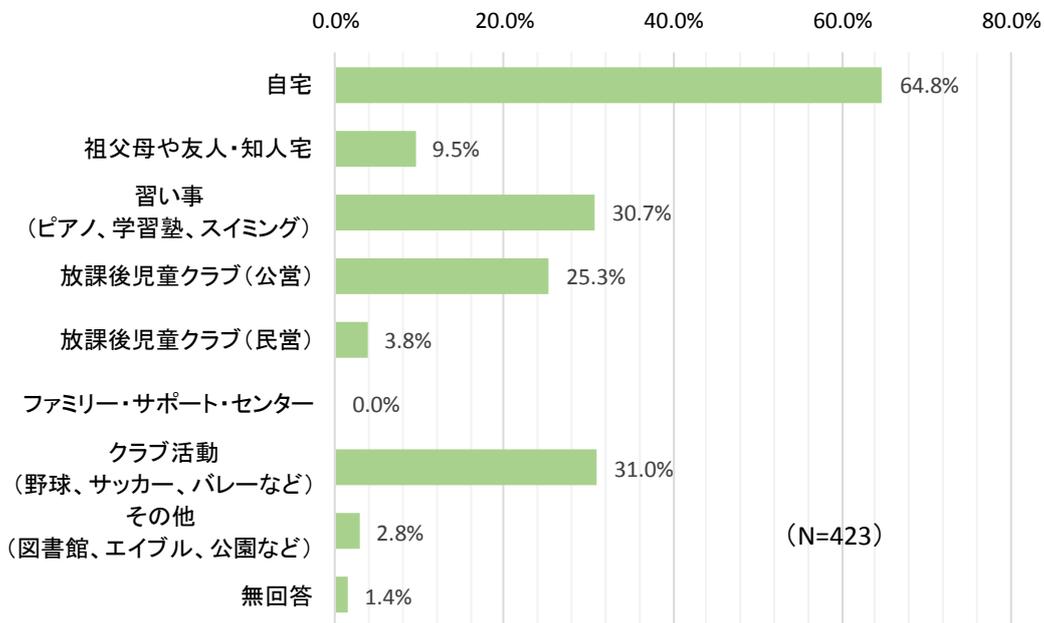
3. 放課後児童クラブについて

3-1. 放課後を過ごす場所について

小学校の放課後をどのような場所で過ごしているかについてみると、「自宅」が 64.8%でも最も高く、次いでクラブ活動（野球、サッカー、バレー）」の 31.0%、「習い事（ピアノ、学習塾、スイミング）」の 30.7%の順となっており、「放課後児童クラブ」は公営が 25.3%、民営が 3.8%となっています。1 週当たりの利用日数は低学年で「5 日」が 66.2%、次いで「6日」12.2%、「4日」10.8%と続いています。高学年では「5日」が 50.0%、次いで「3日」と「6日」が 21.4%となっています。

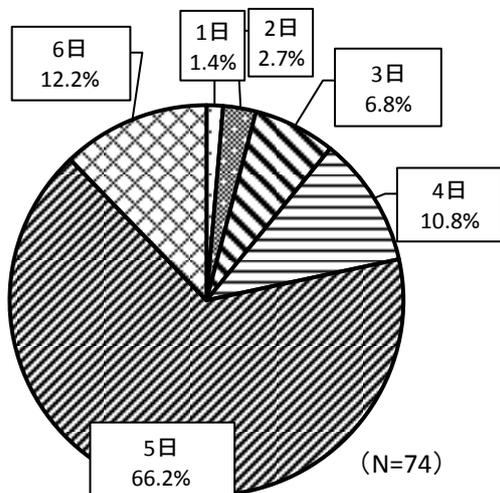
すべての方にお伺いします。

問 8. お子さんは、小学校の放課後（平日の小学校終了後）を、どのような場所で過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○）

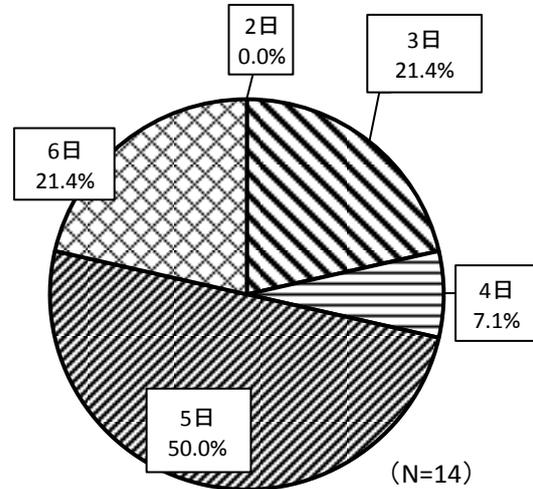


放課後児童クラブ（公営）週当たりの利用回数

【低学年】



【高学年】



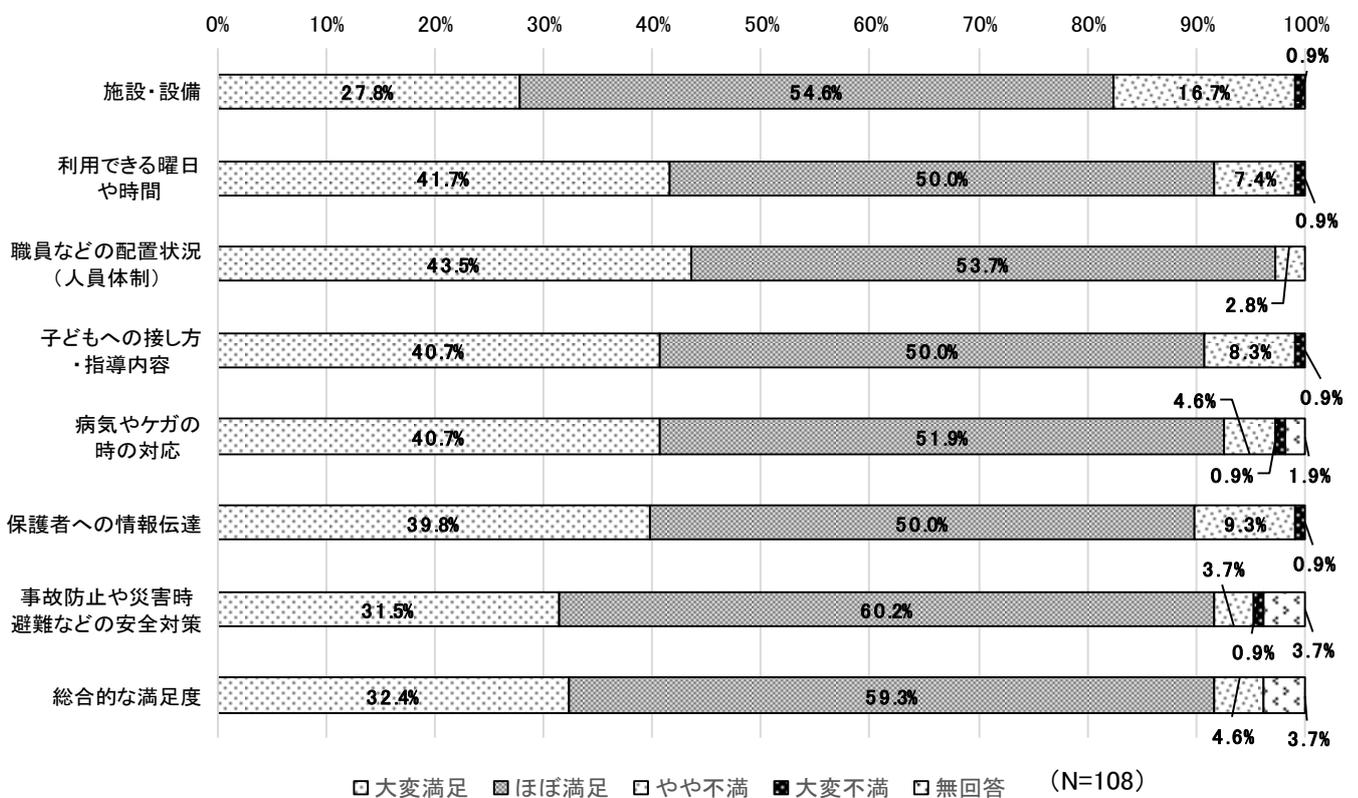
3-2. 放課後児童クラブに対する満足度

放課後児童クラブに対する満足度について、「大変満足」「ほぼ満足」を含めた割合が最も高かったのは「職員などの配置状況（人員体制）」（97.2%）、「病気やケガの時の対応」（92.6%）「利用できる曜日や時間」（91.7%）と9割以上の満足度となっています。

一方、「やや不満」「大変不満」を含めた割合がほかの項目よりも高めとなっているのは、「施設・設備」（17.6%）、「保護者への情報伝達」（10.2%）となっており、児童を受入れる施設の確保および設備の利便性、保護者への情報伝達に関するニーズがうかがえます。総合的な満足度としては91.7%となっており、高い満足度を得ています。

問 8 での「4」に○をした方にお伺いします。

問 8-1. 現在、通っている放課後児童クラブに対してどのように感じていますか。（①～⑧、総合的な満足度それぞれ1つに○）

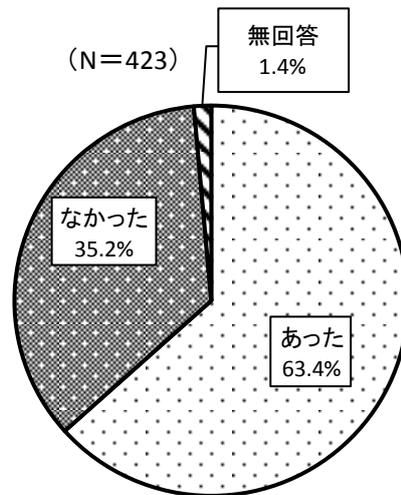


4. 病児・病後児保育について

4-1. 過去1年間に学校を休まなければいけなかったことの有無

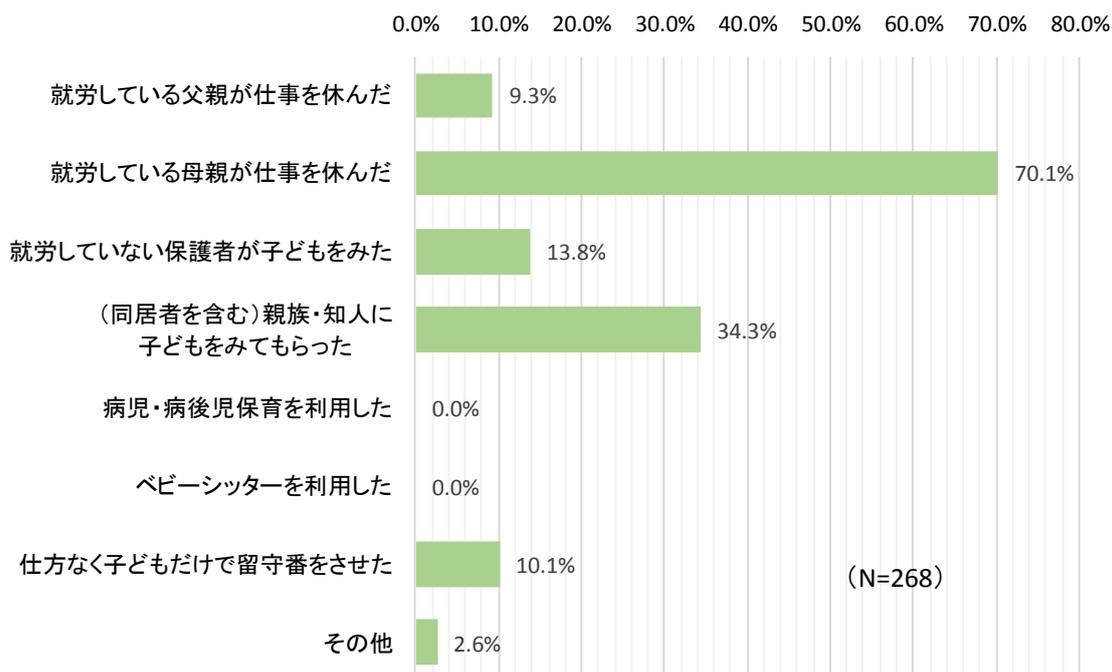
この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだ経験についてみると、「あった」が63.4%で6割以上となっています。その対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が70.1%で最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が34.3%となっています。以下「就労していない保護者が子どもをみた」(13.8%)、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(10.1%)、「就労している父親が仕事を休んだ」(9.3%)と続いており、「病児・病後児保育を利用した」は0%となっています。

問 9. 先月までの1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。
(1つに○)



問 9 で「1」に○をした方にお伺いします。

問 9-1. その対処方法にあてはまる番号すべてに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

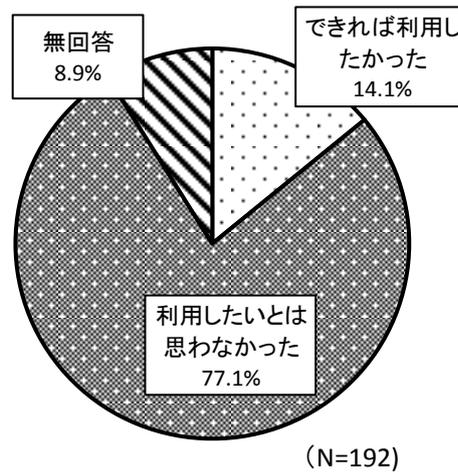


4-2. 病児・病後児保育の利用希望

父親または母親が仕事を休んで対処した人について、「できれば病児・病後児保育を利用したかった」と答えた割合は 14.1%で、病児・病後児保育利用のニーズがうかがえます。

問 9-1 で「1」または「2」に○をした方にお伺いします。

問 9-2. その際、できれば病児・病後児保育を利用したいと思いましたか。(1つに○)



5. 子育て支援サービスについて

5-1. 各種子育て支援サービスの認知度・利用意向について

【認知度】

各種子育て支援サービスの認知度についてみると、「①子どもの医療費助成」「②各種予防接種」（ともに88.2%）の認知度は約9割となっています。一方、「③子育て短期支援事業」は14.2%と、10%台の認知度にとどまっています。

【利用度】

認知度が高めであった「②各種予防接種」（82.3%）、「①子どもの医療費助成」（78.0%）については、利用度も高く約8割になっています。一方、認知度が低めであった「③子育て短期支援事業」、「⑥家庭相談室」は利用率が極めて低く、まずは認知度をあげるための展開が望まれます。

【利用した事業に対する満足度】

各種子育てサービスについて、「満足している」に「はい」と答えた中で「①子どもの医療費助成」が80.6%、次いで「②各種予防接種」が77.0%と高い割合となっています。

【利用意向】

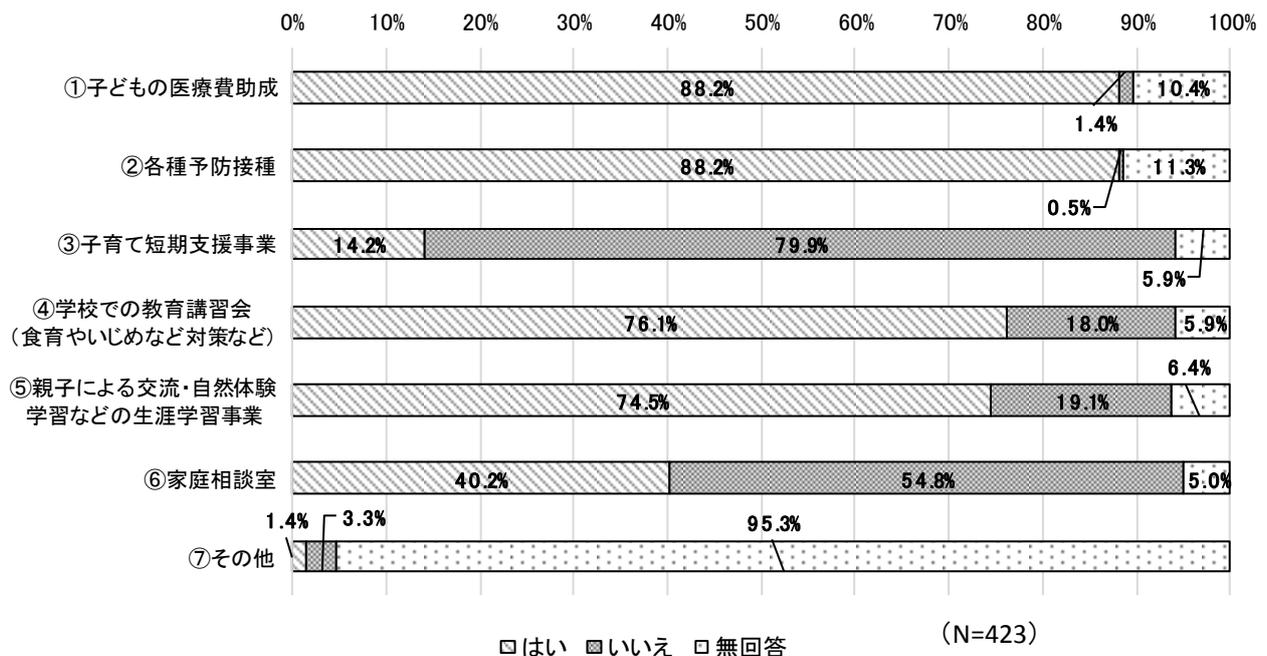
今後の利用希望についてみると、「①子どもの医療費助成」（61.9%）、「②各種予防接種」（60.5%）、とともに6割を超え堅調です。「③子育て短期支援事業」は利用意向が10%未満と低めになっています。

すべての方にお伺いします。

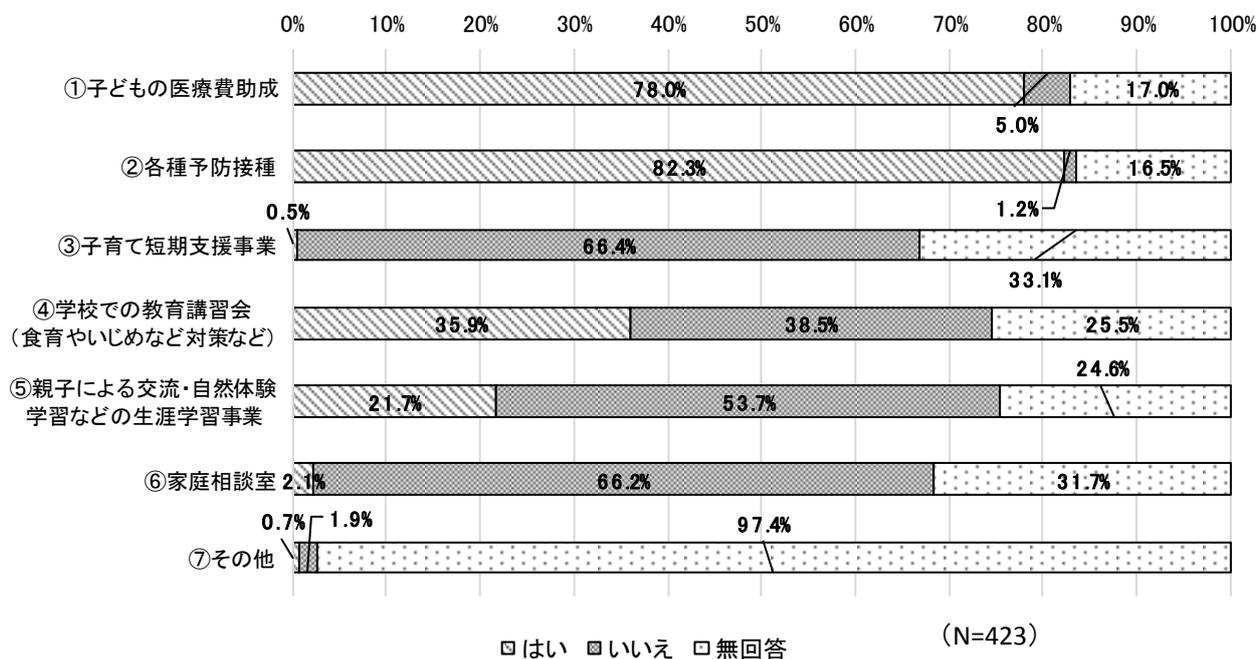
問 10. 下記の①～⑦のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。利用したことがあるサービスについては満足していますか。また、今後利用したいと思いますか。

（サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、1つに○）

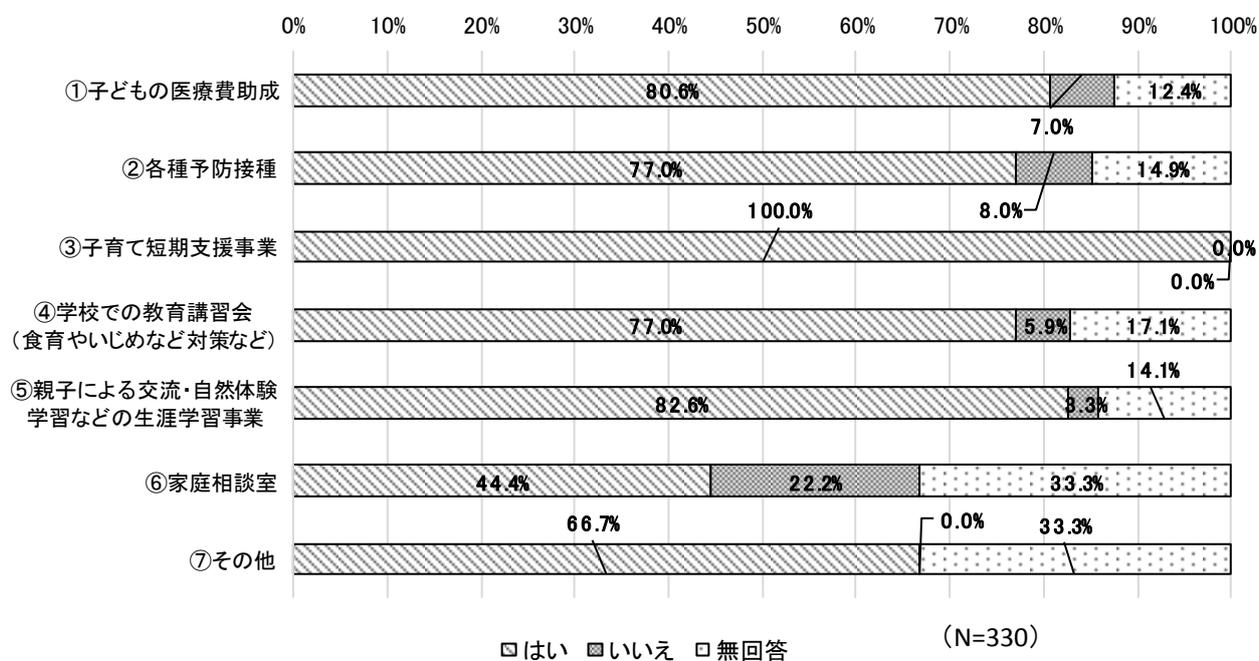
【知っている】



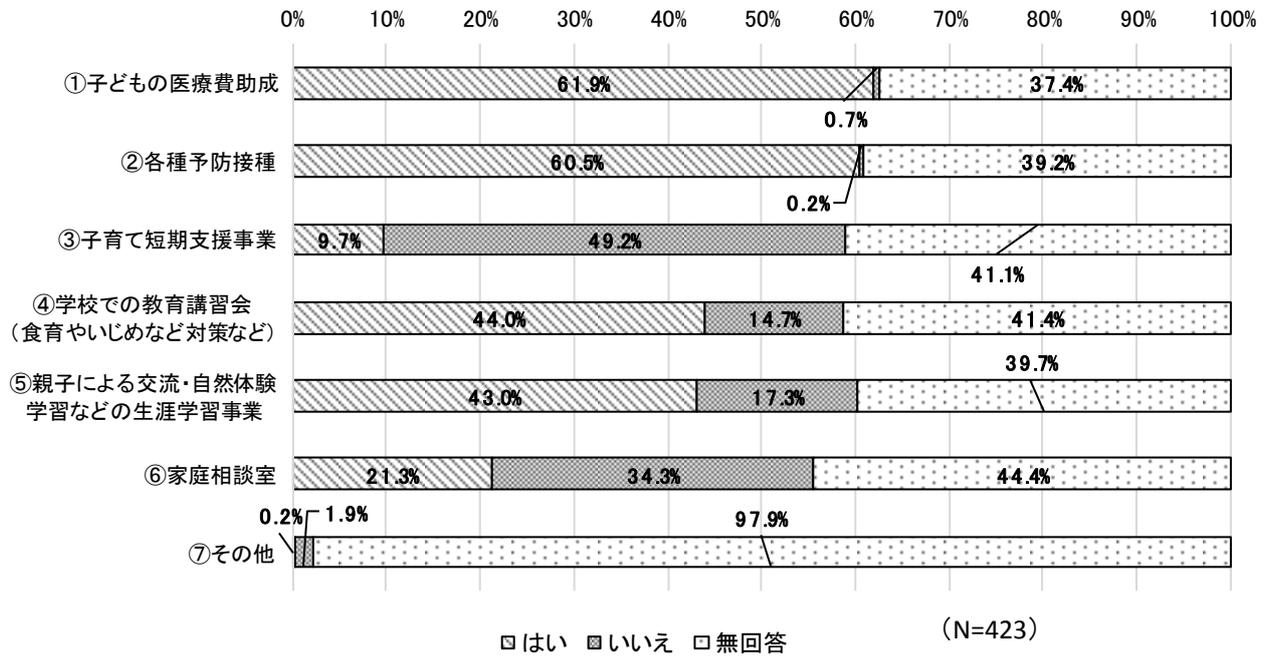
【利用したことがある】



【満足している】



【今後、利用したい】



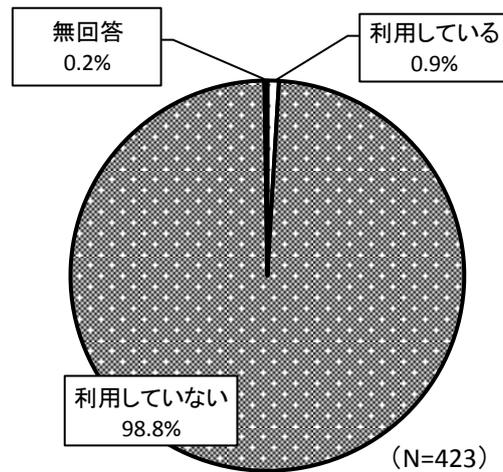
6. 子どもの日常生活について

6-1. 地域活動やグループ活動について

現在ファミリー・サポート・センターの利用状況を見ると、「利用していない」が98.8%と高い割合を占めており、認知度は低い状況となっています。また、利用していない理由については「利用する必要がない」が58.9%、「事業の内容を知らなかった」が38.3%と高い割合を示しています。

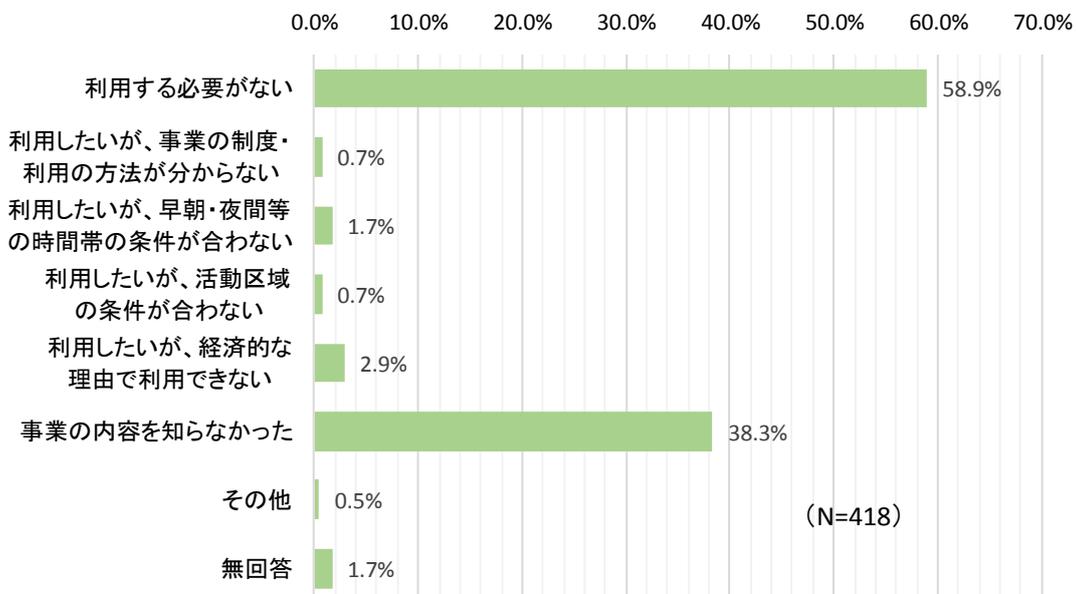
すべての方にお伺いします。

問 11. 現在ファミリー・サポート・センターを利用していますか。(1つに○)



問 11 で「2」に○をした方にお伺いします。

問 11-1. 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



7. 子育て全般について

7-1. 子育てに関する悩みについて

「子育ての「楽しさ」や「喜び」を感じるのはどのようなときですか」という質問に対し、「成長を感じた」93.1%、次いで「満面の笑みや、無防備な寝顔をみたとき」が79.0%、「おしゃべりや、発展的な会話ができるようになった」が68.6%の順となっています。

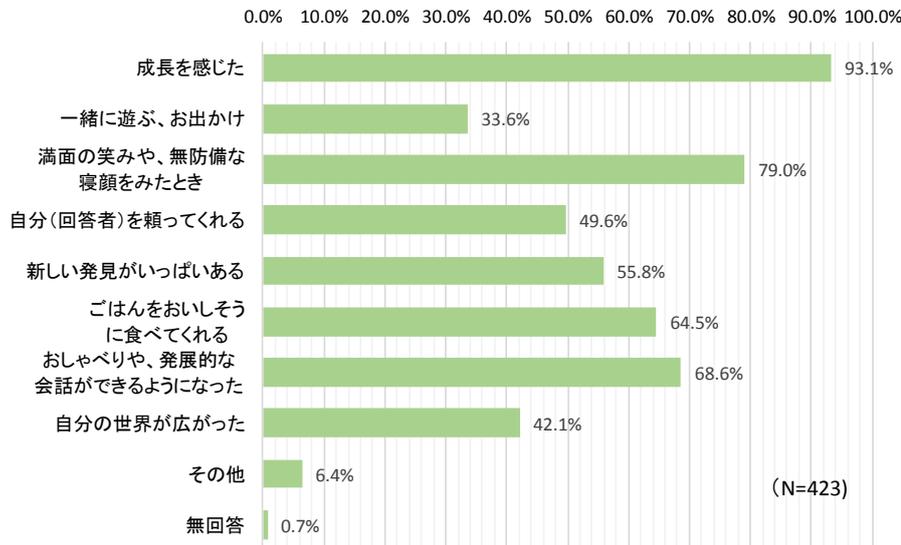
また、子どもに掛かる不安や悩みについてみると、「友達づきあい」が42.8%で最も高く、次いで「教育」(33.8%)、「しつけ」(32.9%)の順となっています。

さらに、子育てをする上での不安や悩みについては、「経済面（出費がかさむ）」が37.8%、次に「子どもとの時間を十分にとれない」が31.2%となっています。

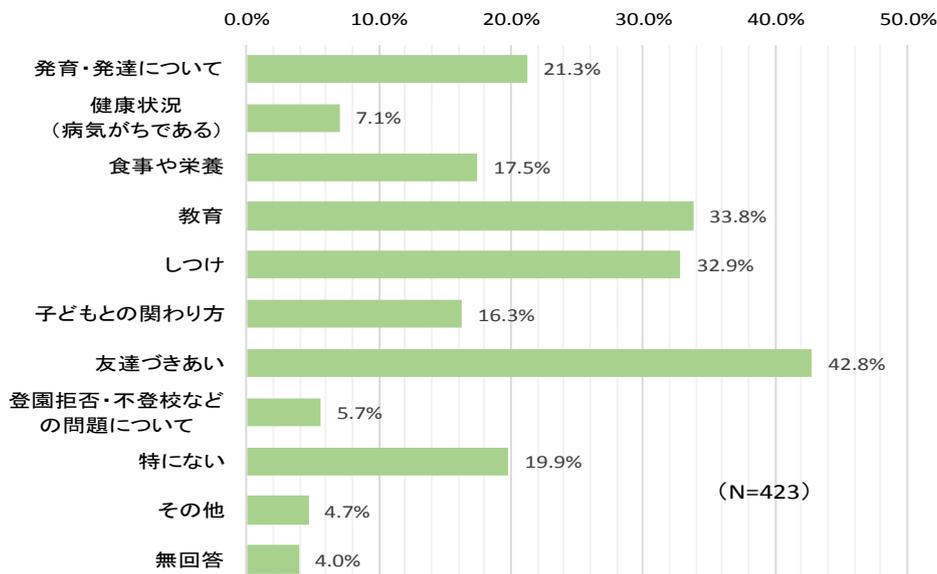
相談する相手についてみると、「親族（親・きょうだいなど）」77.5%、「友人・知人」63.1%の2項目が目立って高く、次いで「職場の人」の41.4%となっており、自分の身近な相談相手を選んでいる状況です。一方、「市役所や市の機関」等の公的相談機関は数%と極めて低率となっています。

すべての方にお伺いします。

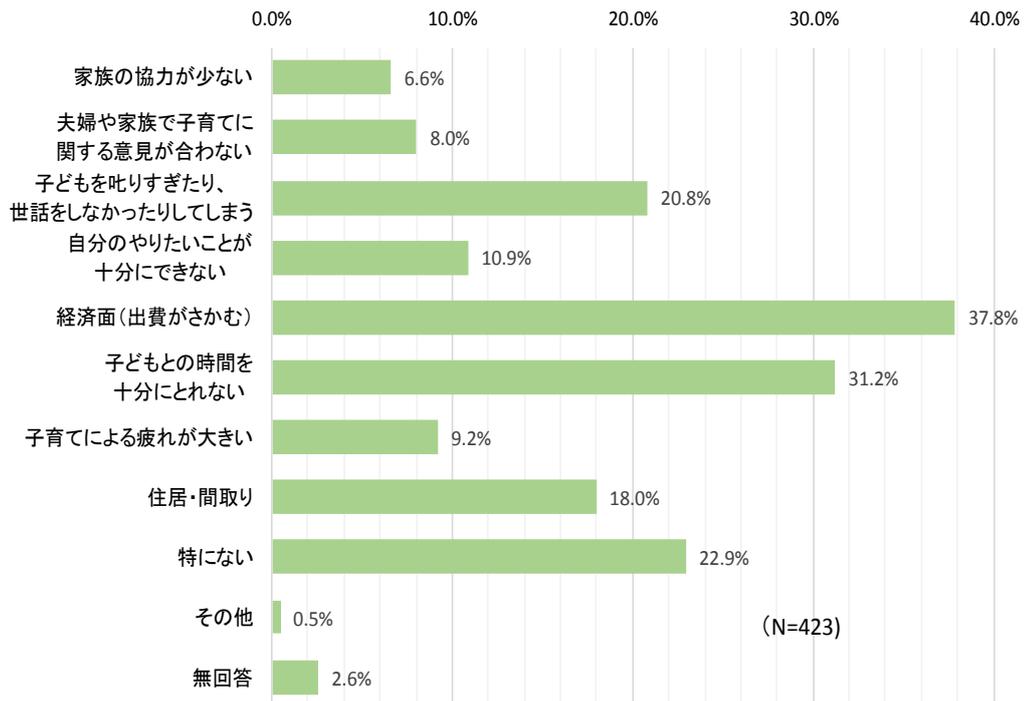
問 12. 子育ての「楽しさ」や「喜び」を感じるのはどのようなときですか。(あてはまるものすべてに○)



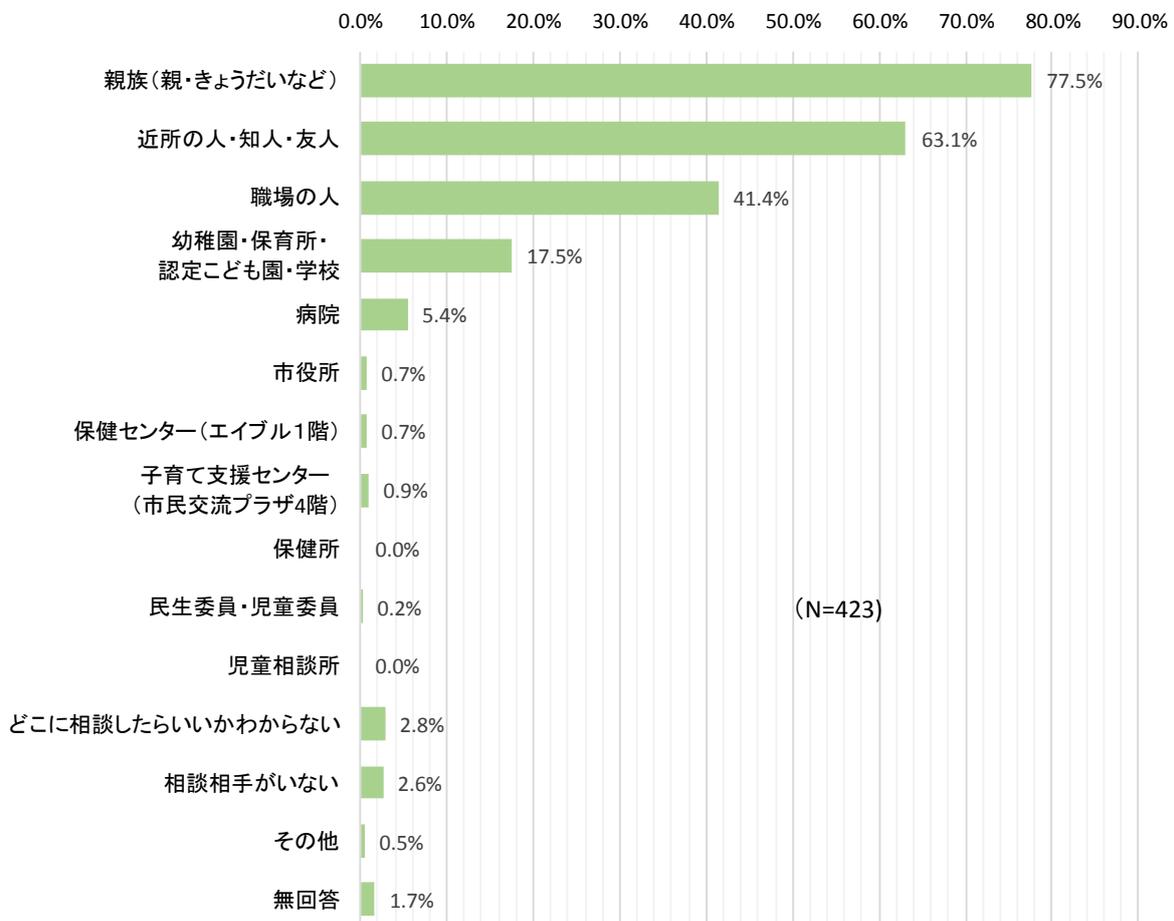
問 13. お子さんについてどのような不安や悩みを持っていますか。(あてはまるものすべてに○)



問 14. 子育てをする上で、どのような不安や悩みを持っていますか。(あてはまるものすべてに○)



問 15. 子育てについて不安に思ったり、困ったりすることやわからないことがある場合、だれに(どこに)相談されますか。(あてはまるものすべてに○)

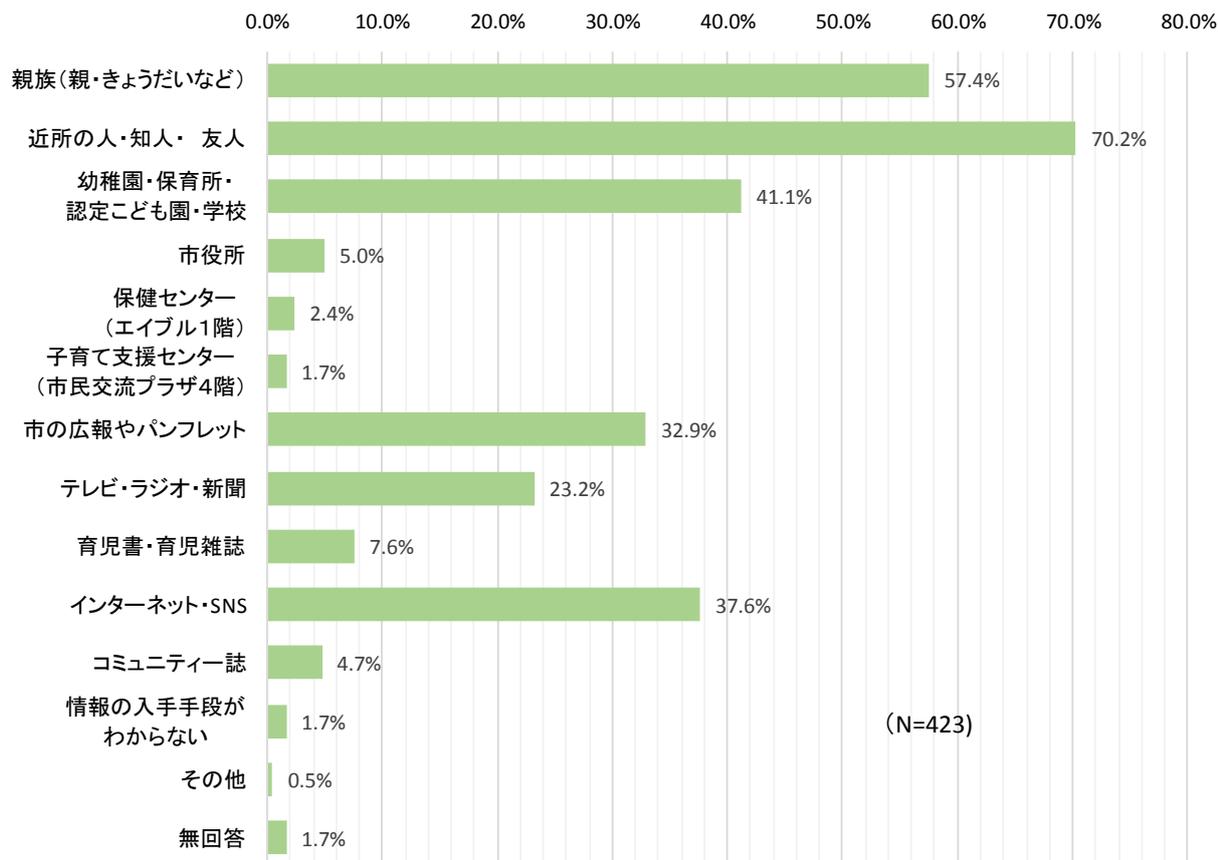


7-2. 子育てに関する情報の入手先

子育てに関する情報の入手先についてみると、「近所の人、地域の知人・友人」の70.2%が最も高く、次いで「親族（親・きょうだいなど）」の57.4%、「幼稚園、保育所、学校」の41.1%の順となっています。

近年の情報化社会の進展に伴い、「インターネット・SNS」(37.6%)、「市の広報やパンフレット」(32.9%)、「テレビ、ラジオ、新聞」(23.2%)と、情報の入手先は多様化している状況と伺えます。

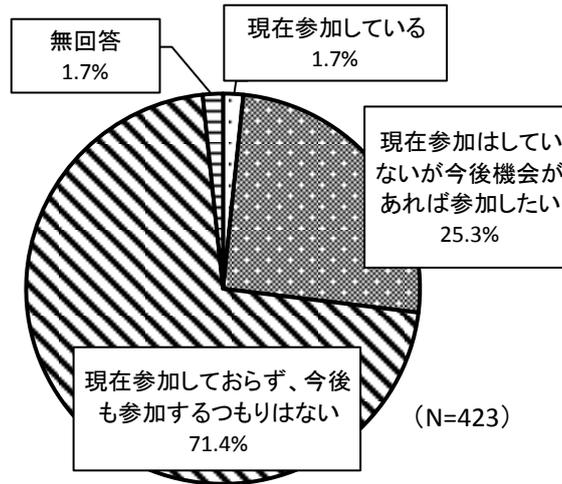
問 16. 子育てに関する情報をどのように入手されていますか。(あてはまるものすべてに○)



7-3. 子育てに関する自主的な活動について

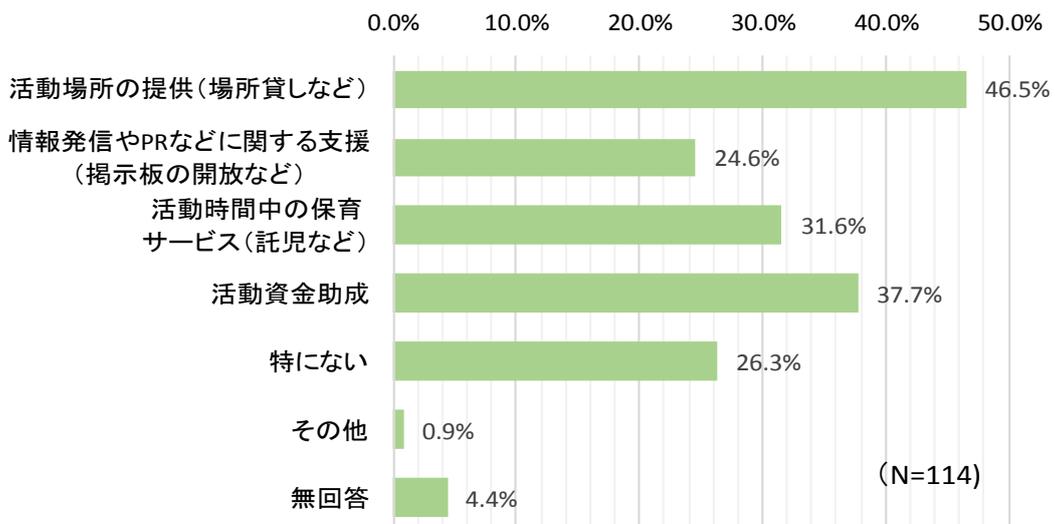
子育てに関する自主的な活動等についてみると、「現在参加している」は 1.7%にとどまっています。「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が 25.3%となっており、「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」と答えた割合は7割を超えています。自主活動をしていくにあたり、行政に行ってほしい支援等についてみると「活動場所の提供（場所貸しなど）」が 46.5%で最も高く、次いで「活動資金助成」（37.7%）、「活動時間中の保育サービス（託児など）」（31.6%）の順となっています。

問 17. あなたは、子育てサークルに関するサークル、クラブなど自主的な活動に参加していますか。(1つに○)



問 17 で「1」または「2」に○をした方にお伺いします。

問 17-1. 自主活動をしていくにあたって、行政に行ってほしい支援はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

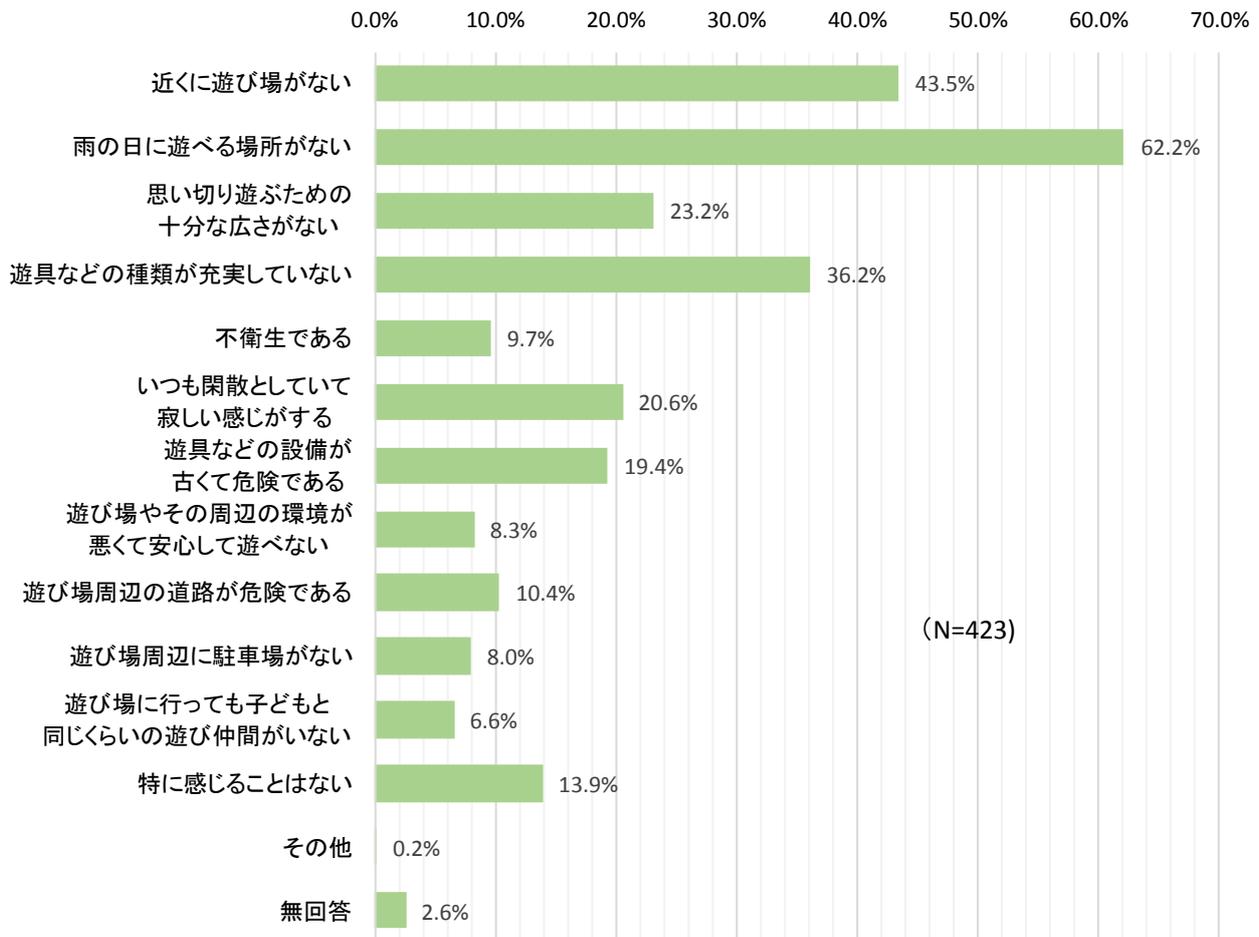


7-4. 子育て中に感じる地域の環境について

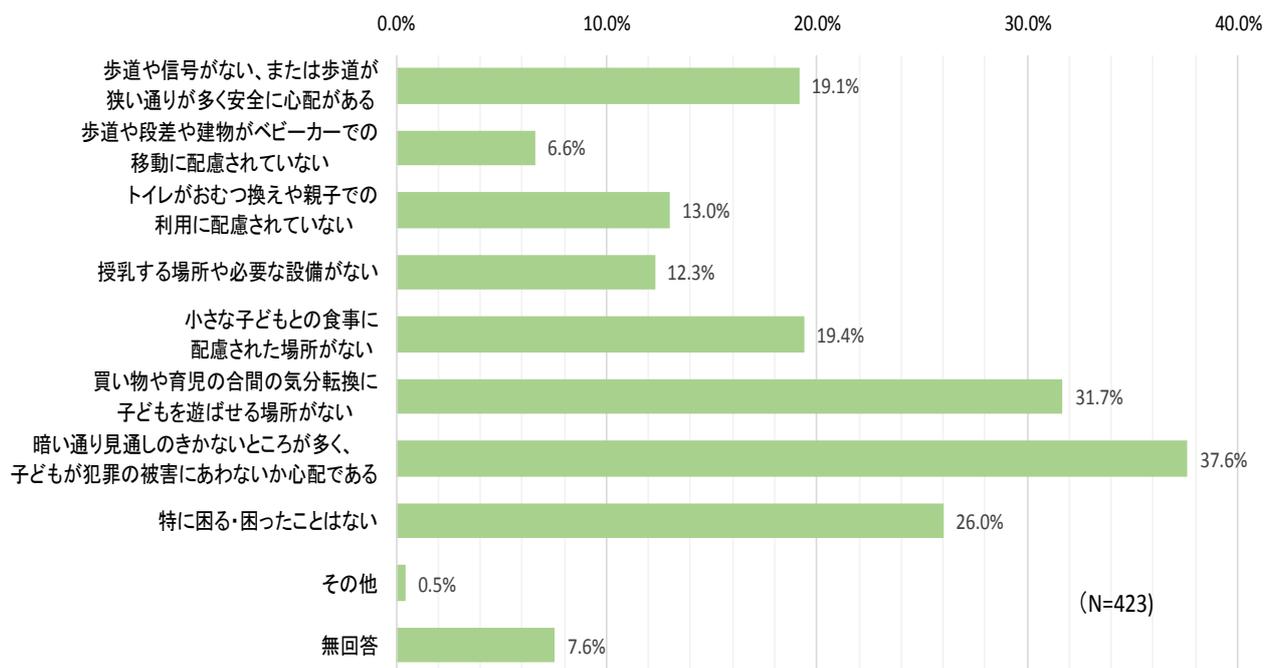
市内の子どもの遊び場について、日頃感じていることをみると、「雨の日に遊べる場所がない」が62.2%で圧倒的に高くなっています。次いで「近くに遊び場がない」43.5%、「遊具などの種類が充実していない」36.2%と続いています。子どもの遊び場の充実に対するニーズがうかがえます。

子どもと外出の際に困ること・困ったことについてみると、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である」が37.6%で最も高く、次いで「買い物や育児の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」(31.7%)と続いています。子どもが安心して過ごせるような環境が望まれています。

問 18. 市内の子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか。(あてはまるものすべてに○)



問 19. 市内において子どもと外出する際、困ること・困ったことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



7-5. 行政に対する要望について

今後、充実すべきだと思う行政の子育て支援策についてみると、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やす」が 55.1%で最も高く、次いで「多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど公営住宅面にも配慮する」の 40.0%となっています。以下「子育てについて学べる場を作る」(35.5%)、「幼稚園や保育所にかかる出費負担を軽減する」(30.0%)と続いています。子連れでも楽しめる場所や、子育てについて学べるイベント、そして家族構成を考慮した上で支出負担等を軽減したいといった保護者ニーズが高まっています。

問 20. 今後、行政はどのように子育て支援策を充実すべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

